

(剛性防護柵基礎添架タイプ 補強土壁部)

注) ・ 防護柵長は全て支柱中心実長で示す。



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	落下物防止柵詳細図（1）		
縮 尺	図 示	図面番号	98 の 21
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

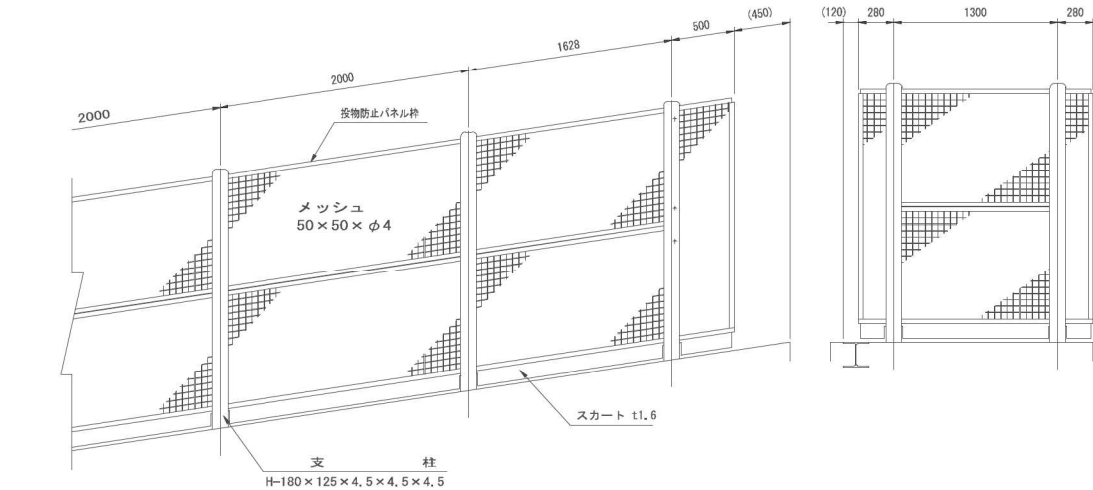
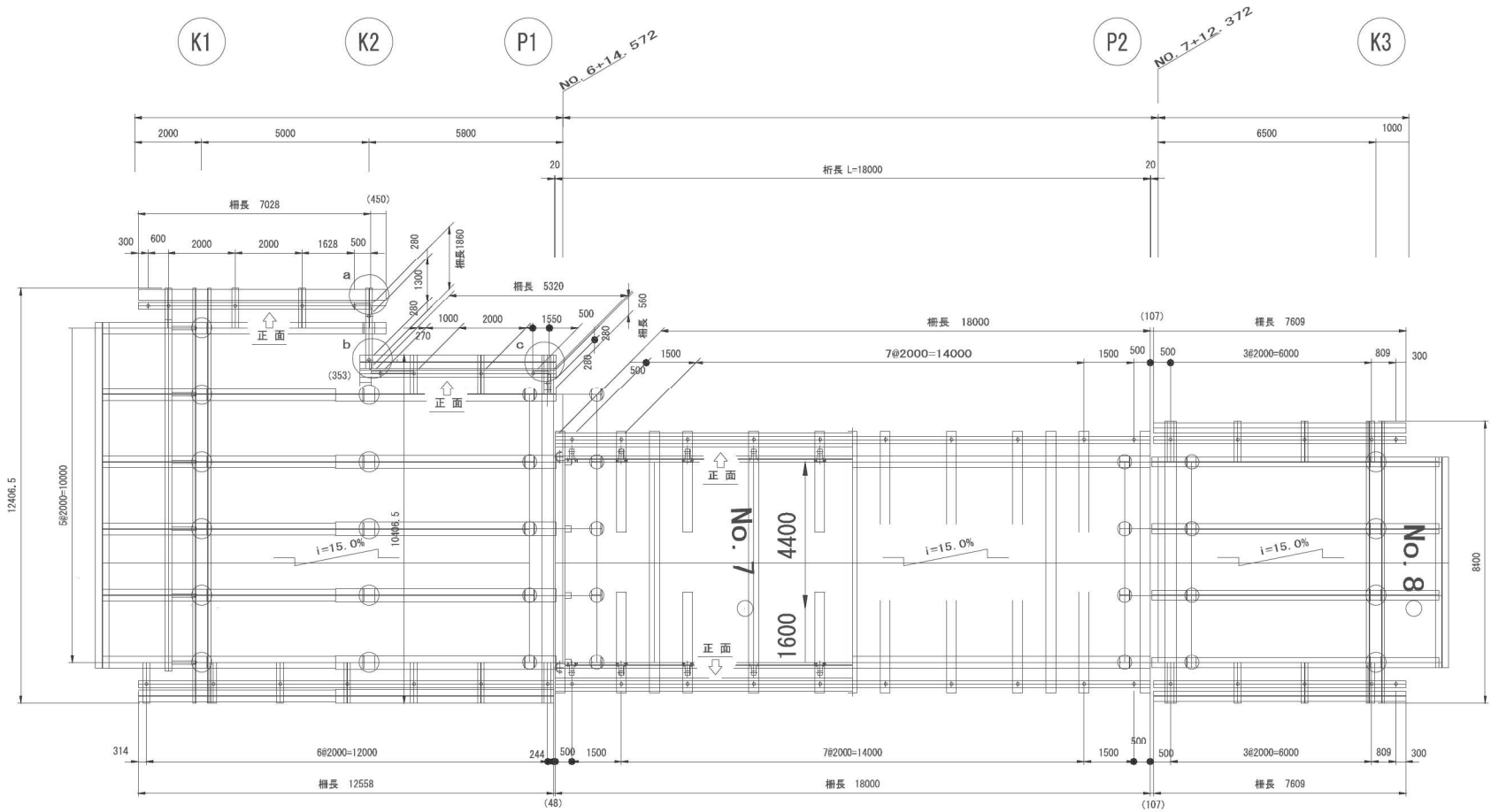
落下物防止柵詳細図（２）

（橋梁添架タイプ 県道交差部）

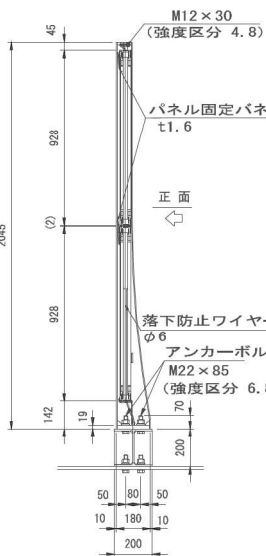
正面展開図 S=1:30

割付図 S=1:100

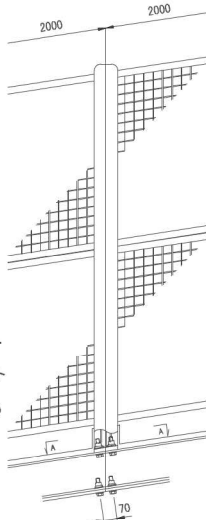
注）・防護柵長は全て支柱中心実長で示す。



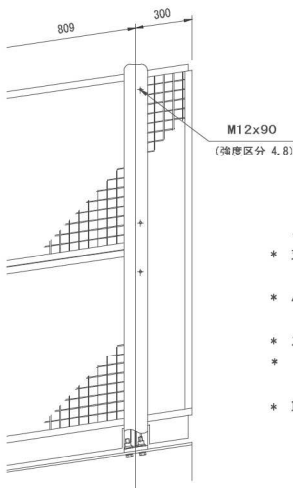
支柱図 S=1:20
V-SFF (特)



標準部



端末部



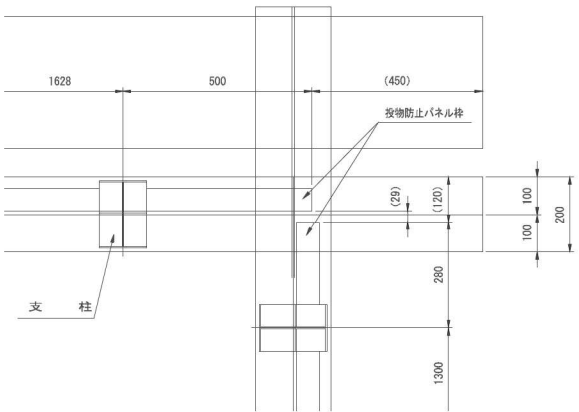
特記仕様

- 支柱は、溶融亜鉛めっき（HDZ35）
＋静電粉体塗装（平均50μm以上）とする。
- パネル枠は、アルミニウム合金押出型材
（A6063S-T5及びT6）＋アルマイト処理とする。
- スカートは、亜鉛めっき＋静電粉体塗装（平均50μm以上）とする。
- メッシュパネルは、亜鉛めっき鉄線＋静電粉体塗装
（平均50μm以上）とする。
- 取付ボルト類は、溶融亜鉛めっき仕上とする。

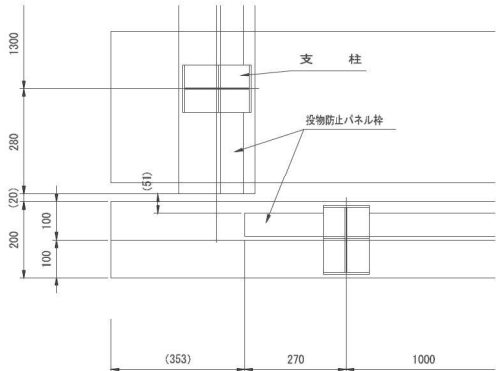
エキストラ加工数量

勾配加工	i ≥ 10%	76.124m
R曲げ加工	R ≤ 10m	
	R > 10m	
突き合わせ溶接加工		
端部補強スリーブ		
標名板取付用金具		

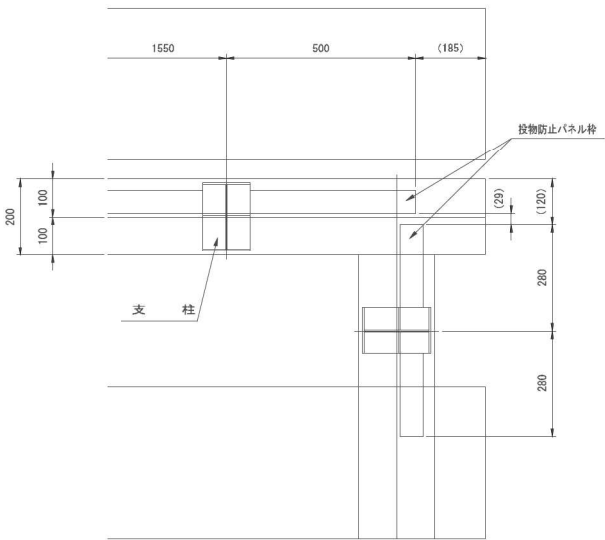
a部詳細図 S=1:10



b部詳細図 S=1:10



c部詳細図 S=1:10



部材数量表

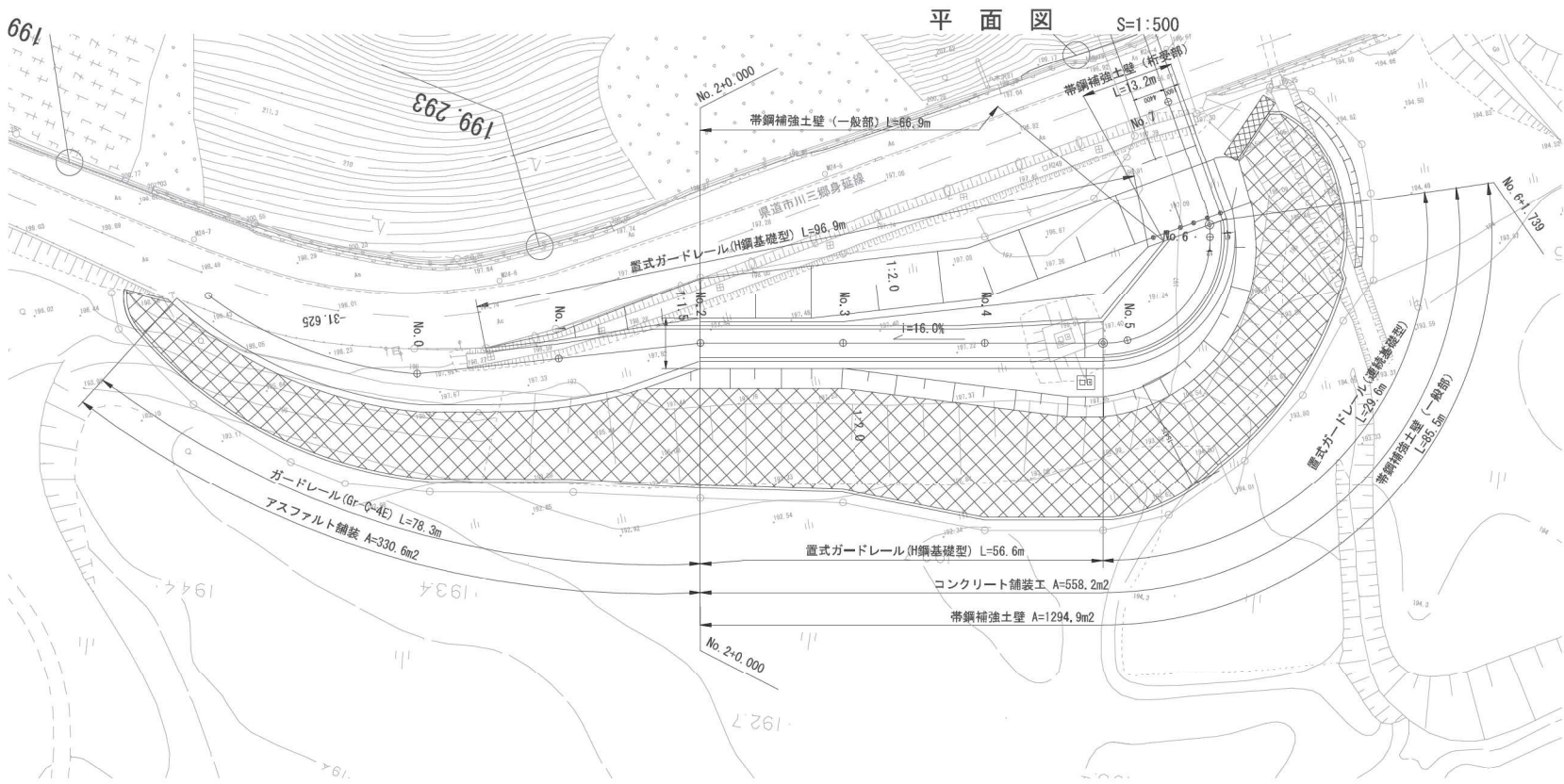
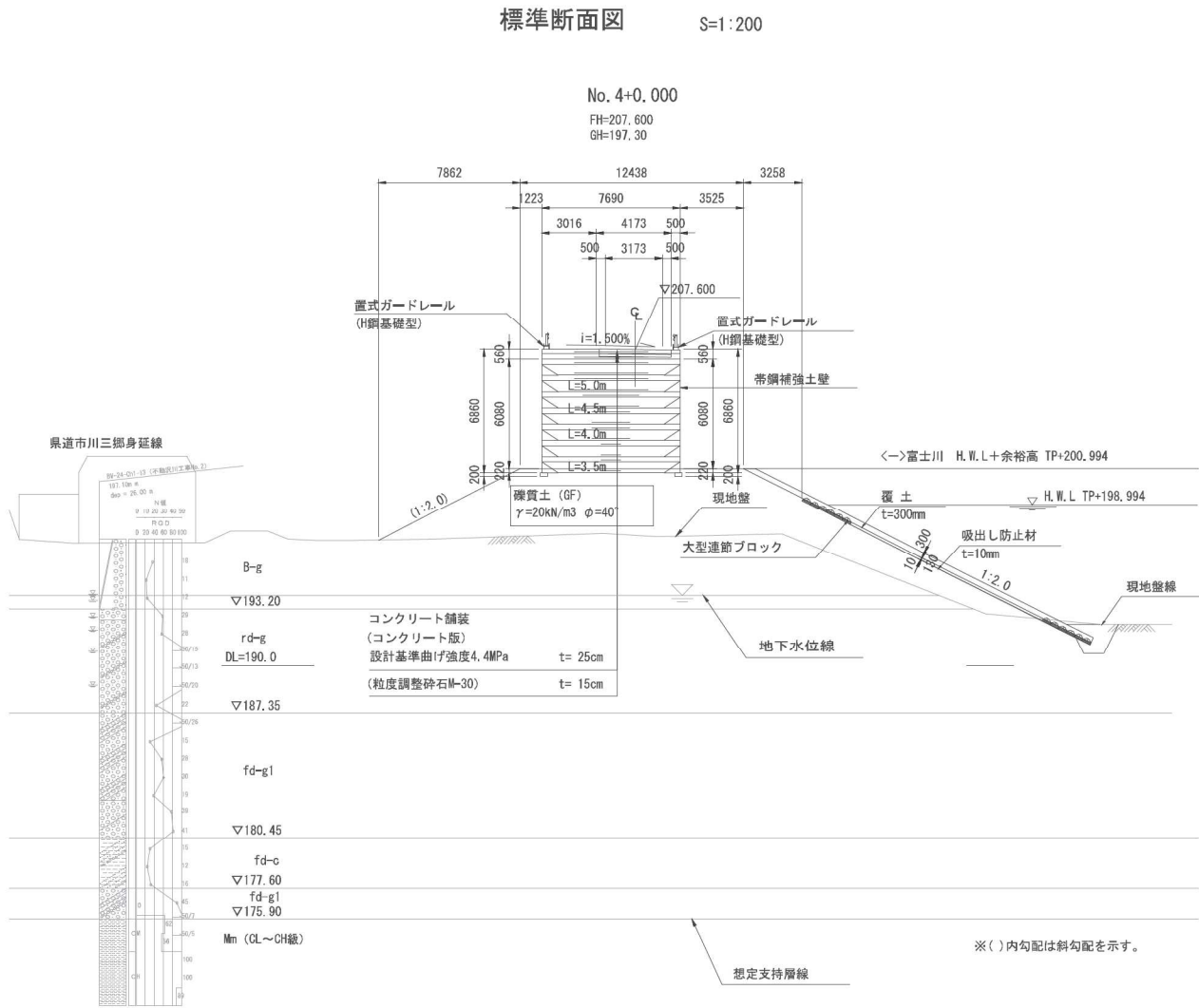
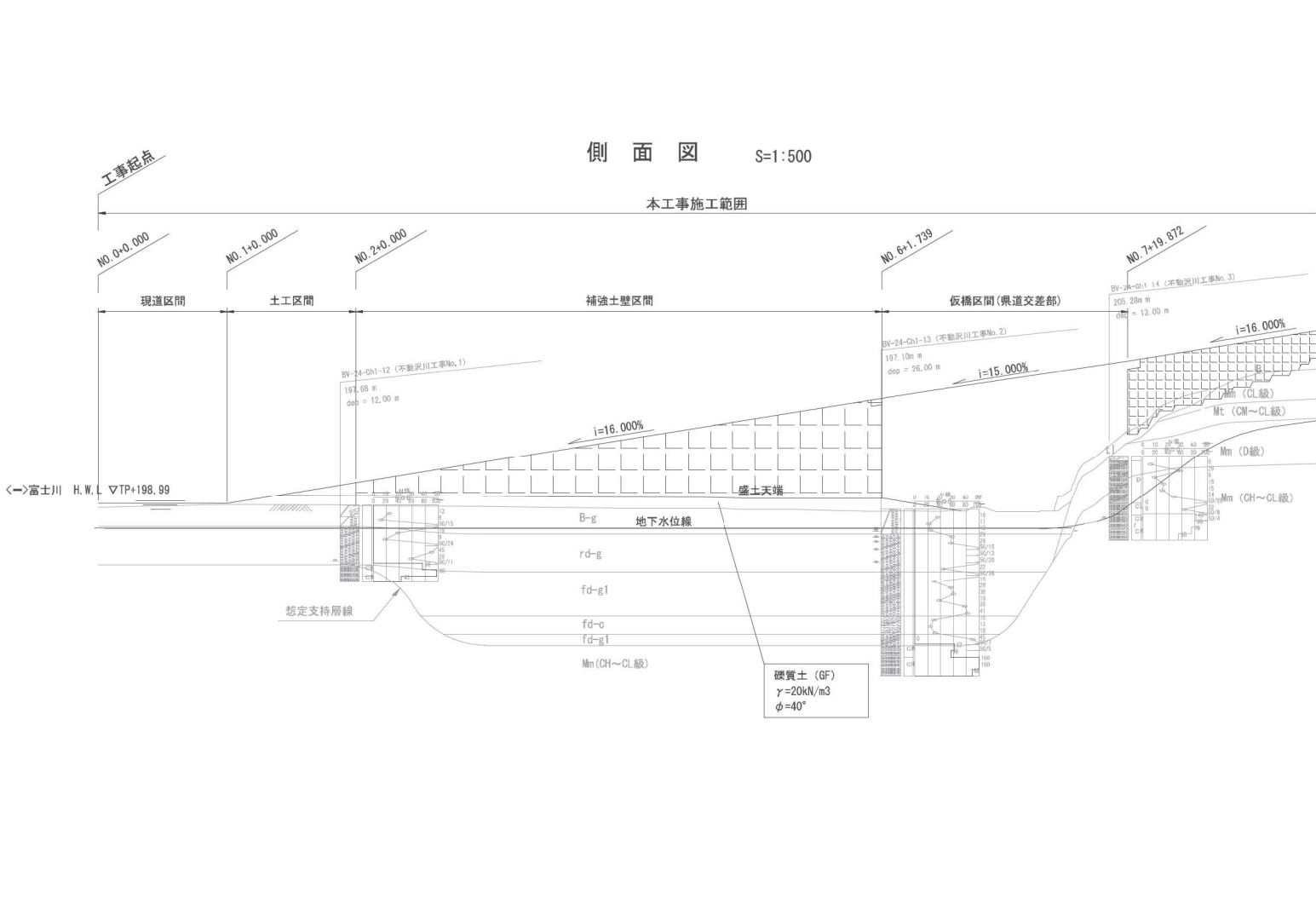
品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H180×125×4.5	本	49	28.58	1400.42	SS400
投物防止パネル	928×60	m	157.088	9.30	1460.92	SWG H-3 A6063S-T5, T6
スカート	120×66×1.6	m	78.544	2.47	194.00	SGH400 (Z27)
落下防止ワイヤー	φ6×4200	本	34	0.38	12.92	—
パネル固定パネ	t1.6	個	170	0.17	28.90	SUP6
取付ボルト	M12×30	セット	40	0.07	2.80	強度区分 4.8
取付ボルト	M12×90	セット	80	0.12	9.60	強度区分 4.8
アンカーボルト	M22×85	セット	196	0.80	156.80	強度区分 6.8
(78.544 m当り)			合計質量		3266.36	kg

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工用道路】

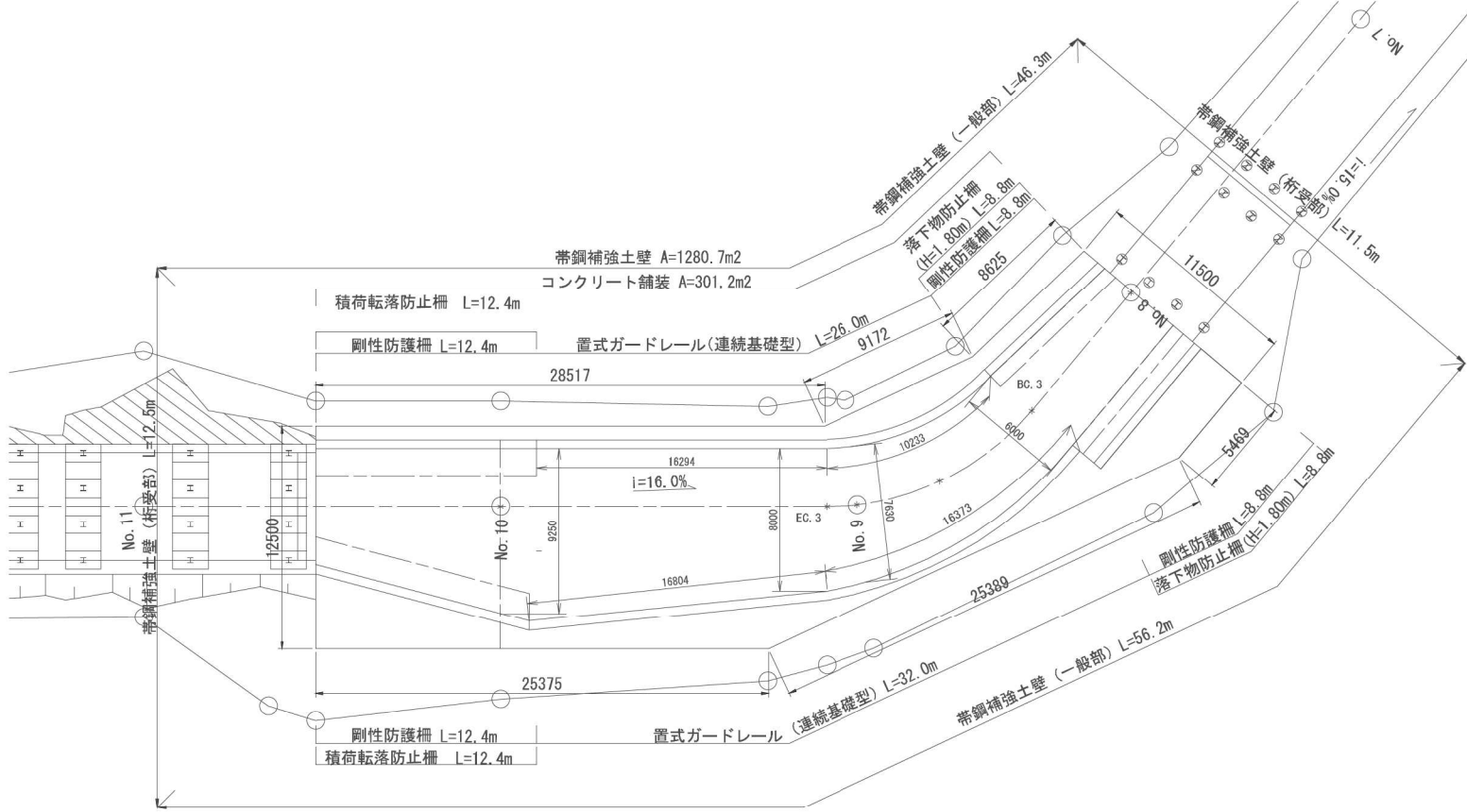
工事名	R7中部横断道工用道路撤去その2工事		
図面名	落下物防止柵詳細図（２）		
縮尺	図示	図面番号	98の22
年月日	令和8年1月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁一般図（１）

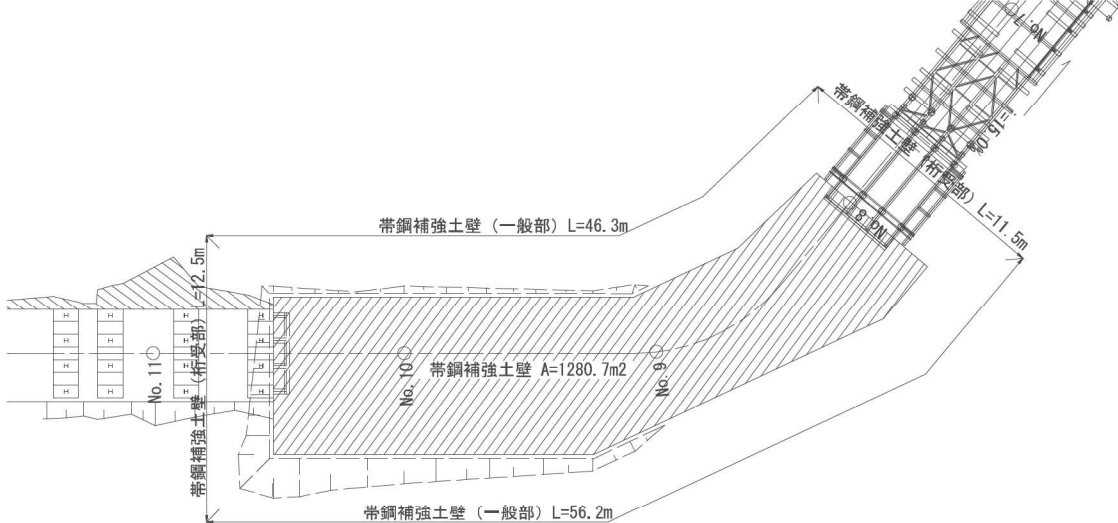


補強土壁一般図（2）

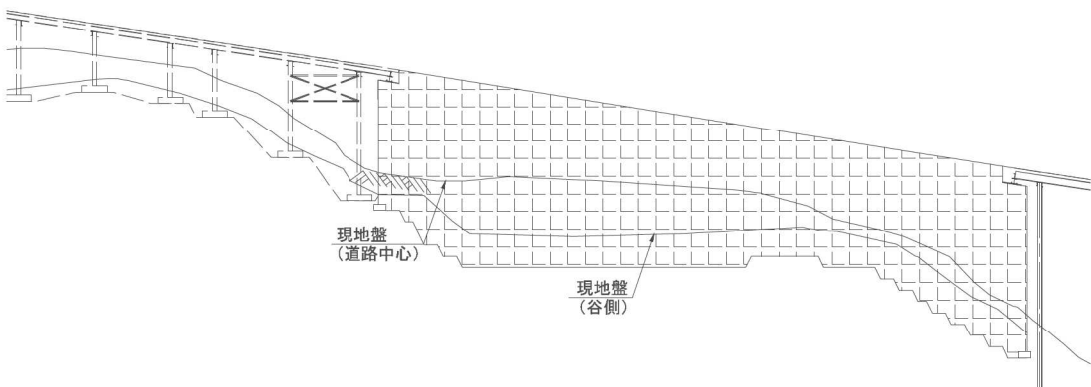
平面図 S=1:200



平面図 S=1:300

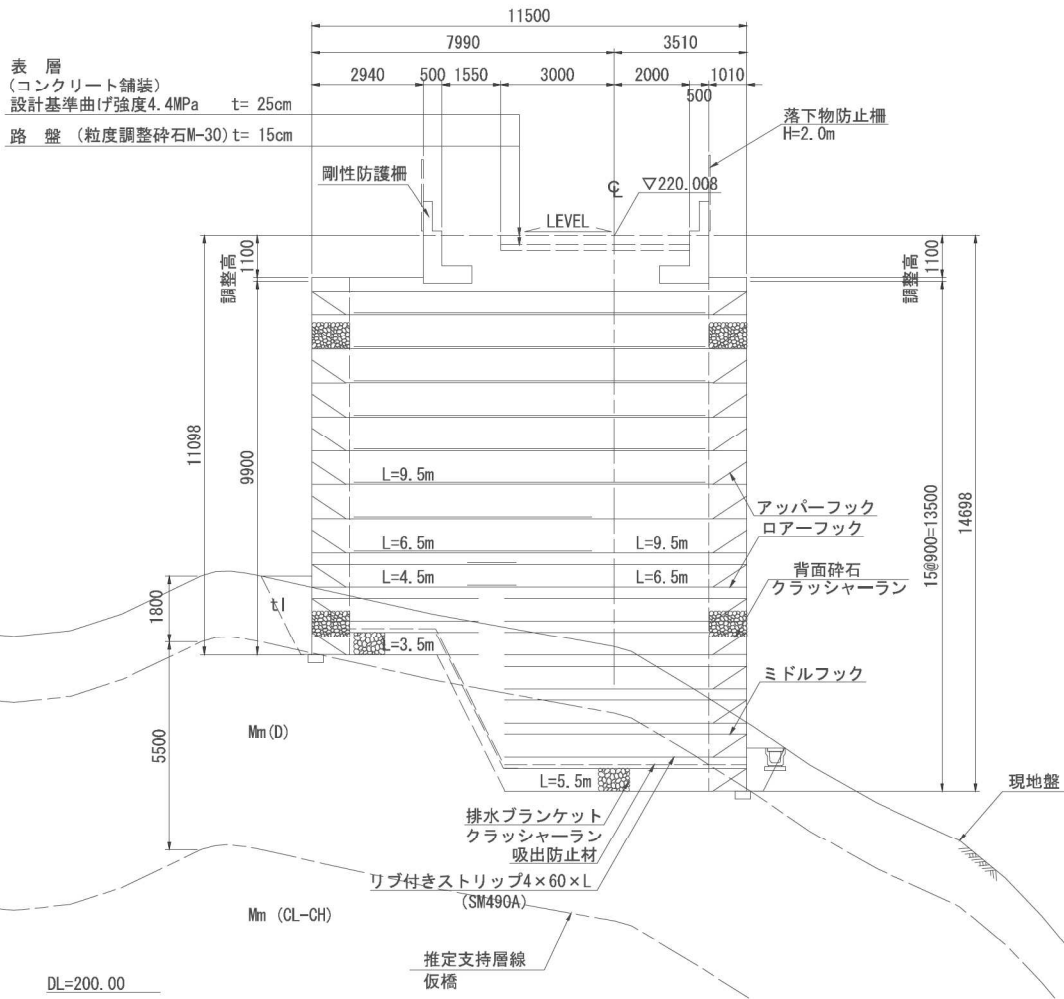


側面図 S=1:300



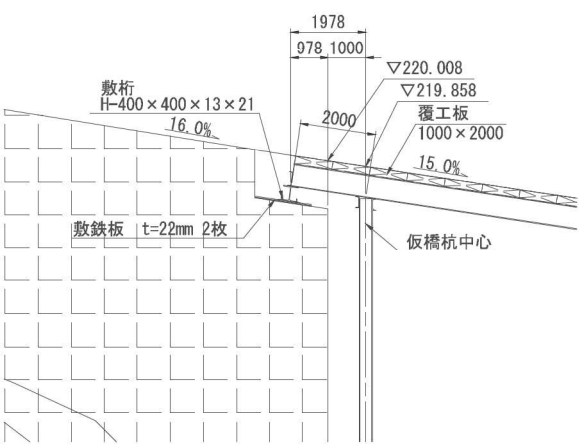
NO. 7+19.872 S=1:100

GH=209.12
FH=220.008

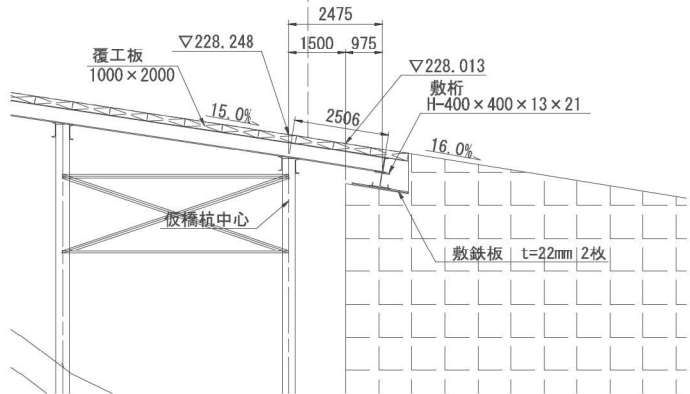


天端詳細図 S=1:100

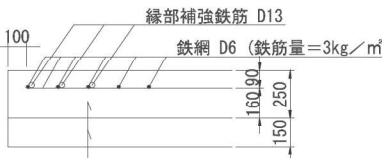
起点側接続部



終点側接続部



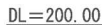
舗装構成図 S=1:20



表層
(コンクリート舗装)
設計基準曲げ強度4.4MPa t=25cm
路盤(粒度調整砕石M-30) t=15cm

【不動沢川工事用道路】			
工事名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図面名	補強土壁一般図（2）		
縮尺	図示	図面番号	98の24
年月日	令和8年1月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

$S=1:100$ 

補強土壁延長
(補強土壁高)
基礎延長

1. 盛土材料は、次に示す〔A1〕もしくは〔A2〕材料を用いることを原則とする。
 - 〔A1〕 細粒分（土粒子の粒径が $75\mu\text{m}$ 以下のもの）の含有量が25%以下の土質材料。
 - 〔A2〕 岩石材料の寸法が250mmを越える大きい寸法のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小の寸法のものが適度に混合して締固めのしやすいもの。
2. 実施前において、必ず壁位置における原地盤線及び、基礎地盤の確認を要する。
(基礎地盤定数確認後、円弧すべり検討を行うこと。)
3. 地山部及び掘削面に異常な湧水（設計図に示されていない排水対策外）が見られる場合は、別途対策、検討する必要がある。

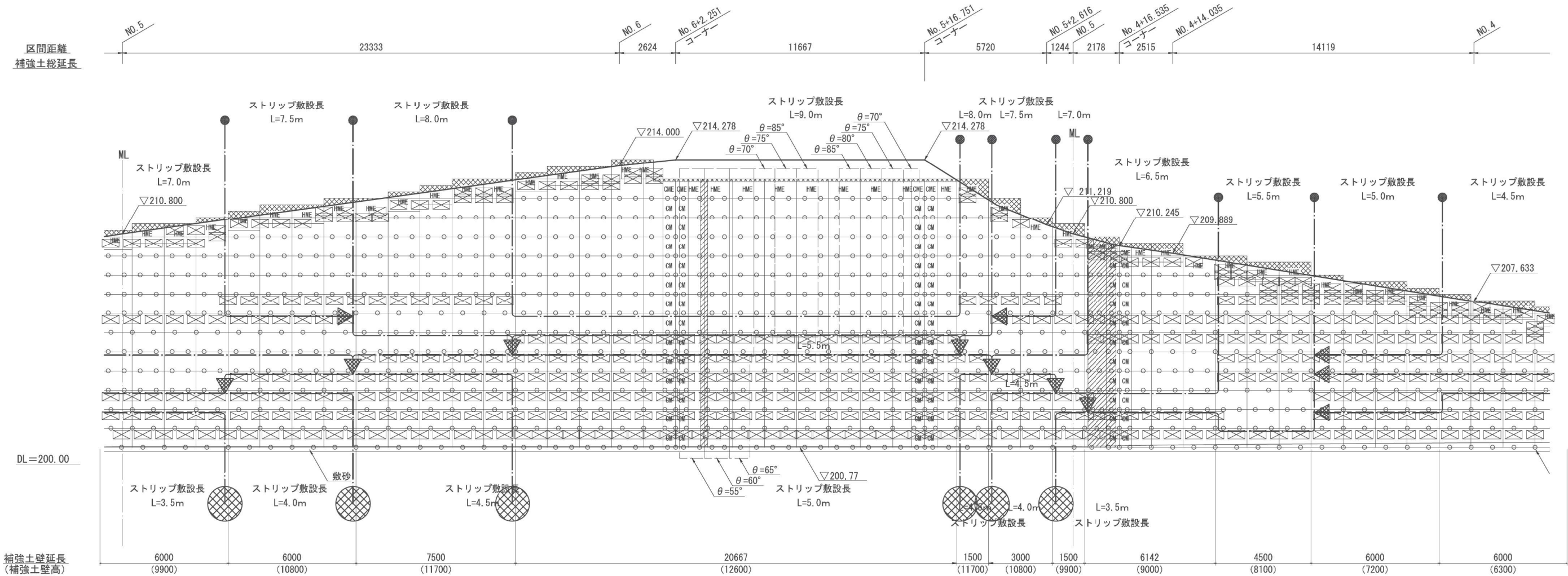
- 注)1. 無記名のメッシュパネルは、“FM”を示す。
 注)2.  は、メッシュパネルラップ部分を示す。
 注)3.  は、メッシュパネルカット部分を示す。
 注)4.  は、メッシュパネルの破材を利用する部分を示す。
 注)5. ○ は、アッパーフック・ローフック・ヘアピンを
 組合わせて、ストリップを取り付ける。
 注)6.  は、ミドルフック・ヘアピンを組合わせて、
 ストリップを取り付ける。
 注)7. 上段付近ストリップはコンクリート舗装に影響が無いよう
 ミドルフックを斜め下方向きに取り付けストリップを敷設すること。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	補強土壁展開図（1）		
縮 尺	1:100	図面番号	98 の 25
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁展開図（2）

S=1:100



補強土壁延長
(補強土壁高)
基礎延長

設計条件		
補強土壁の高さ	Hmax =12.600 m	
盛土材の性質	$\phi = 30^{\circ}$, $\gamma = 19\text{kN/m}^3(1.9\text{tf/m}^3)$	
盛土材とストリップの間の摩擦係数	$f' = 1.5 \sim 0.726$	
設計水平震度	kH = 0.15 (Ⅱ種地盤)	
安全率	常時	地震時
	ストリップの引き抜きに対して	2.00 1.20
	盛土のすべり破壊に対して	1.20 1.00
	ストリップの引張許容応力度	$\sigma ta = 185\text{N/mm}^2(1900\text{kgf/cm}^2)$
ボルトのせん断許容応力度		$\tau a = 200\text{N/mm}^2(2000\text{kgf/cm}^2)$

- 特記
- 盛土材料は、次に示す〔A1〕もしくは〔A2〕材料を用いることを原則とする。
〔A1〕細粒分（土粒子の粒径が75μm以下のもの）の含有量が25%以下の土質材料。
〔A2〕岩石材料の寸法が250mmを越える大きい寸法のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小の寸法のもものが適度に混合して締固めのしやすいもの。
2. 実施前において、必ず壁位置における原地盤線及び、基礎地盤の確認を要する。
（基礎地盤定数確認後、円弧すべり検討を行うこと。）
3. 地山部及び掘削面に異常な湧水（設計図に示されていない排水対策外）が見られる場合は、別途対策、検討する必要がある。

- 注)1. 無記名のメッシュパネルは、“FM”を示す。
注)2. は、メッシュパネルラップ部分を示す。
注)3. は、メッシュパネルカット部分を示す。
注)4. は、メッシュパネルの破材をを利用する部分を示す。
注)5. は、アッパーフック・ローフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)6. は、ミドルフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)7. 上段付近ストリップはコンクリート舗装に影響が無いようミドルフックを斜め下方向に取り付けストリップを敷設すること。
注)8. の範囲の補強材は表記の角度毎に下記の長さの補強材を設置すること。（斜長考慮）

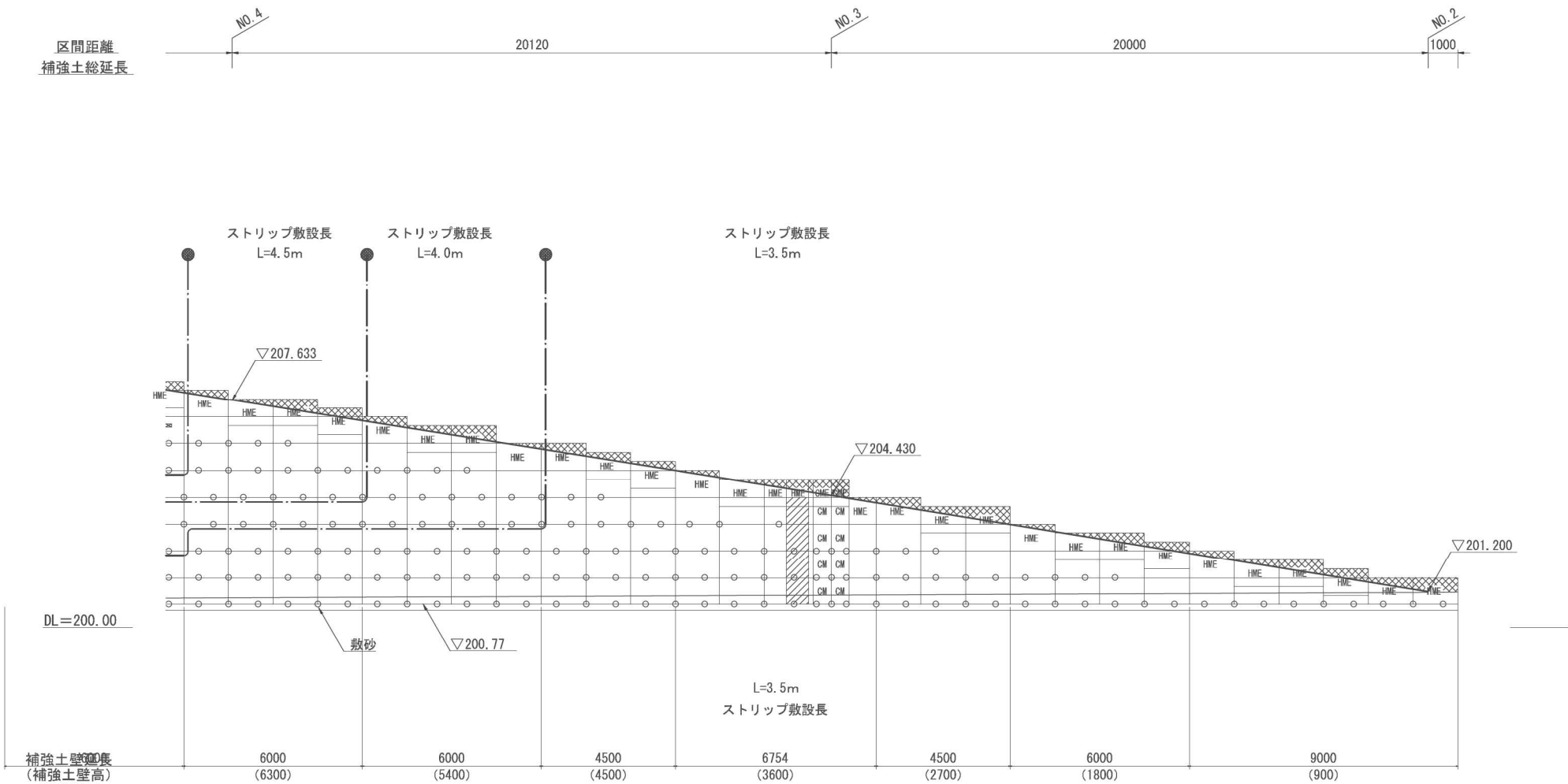
	55°	60°	65°	70°	75°	80°	85°
9.0 →	11.0	10.5	10.0	10.0	9.5	9.5	9.5
8.0 →	10.0	9.5	9.0	9.0	8.5	8.5	8.5
5.5 →	7.0	6.5	6.5	—	—	—	—
5.0 →	6.5	6.0	6.0	—	—	—	—

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】			
工事名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図面名	補強土壁展開図（2）		
縮尺	1:100	図面番号	98の26
年月日	令和8年1月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁展開図（3）

S=1:100



設 計 条 件			
補強土壁の高さ		Hmax =12.600 m	
盛土材の性質		$\phi = 30^{\circ}$, $\gamma = 19\text{kN/m}^3(1.9\text{tf/m}^3)$	
盛土材とストリップの間の摩擦係数		$f' = 1.5 \sim 0.726$	
設計水平震度		kH = 0.15 (Ⅱ種地盤)	
安全率		常 時	地 震 時
	ストリップの引き抜きに対して	2.00	1.20
	盛土のすべり破壊に対して	1.20	1.00
	ストリップの引張許容応力度	$\sigma ta = 185\text{N/mm}^2(1900\text{kgf/cm}^2)$	
	ボルトのせん断許容応力度	$\tau a = 200\text{N/mm}^2(2000\text{kgf/cm}^2)$	

特 記

- 盛土材料は、次に示す〔A1〕もしくは〔A2〕材料を用いることを原則とする。
〔A1〕細粒分（土粒子の粒径が75μm以下のもの）の含有量が25%以下の土質材料。
〔A2〕岩石材料の寸法が250mmを越える大きい寸法のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小の寸法のもものが適度に混合して締固めのしやすいもの。
2. 実施前において、必ず壁位置における原地盤線及び、基礎地盤の確認を要する。
（基礎地盤定数確認後、円弧すべり検討を行うこと。）
3. 地山部及び掘削面に異常な湧水（設計図に示されていない排水対策外）が見られる場合は、別途対策、検討する必要がある。

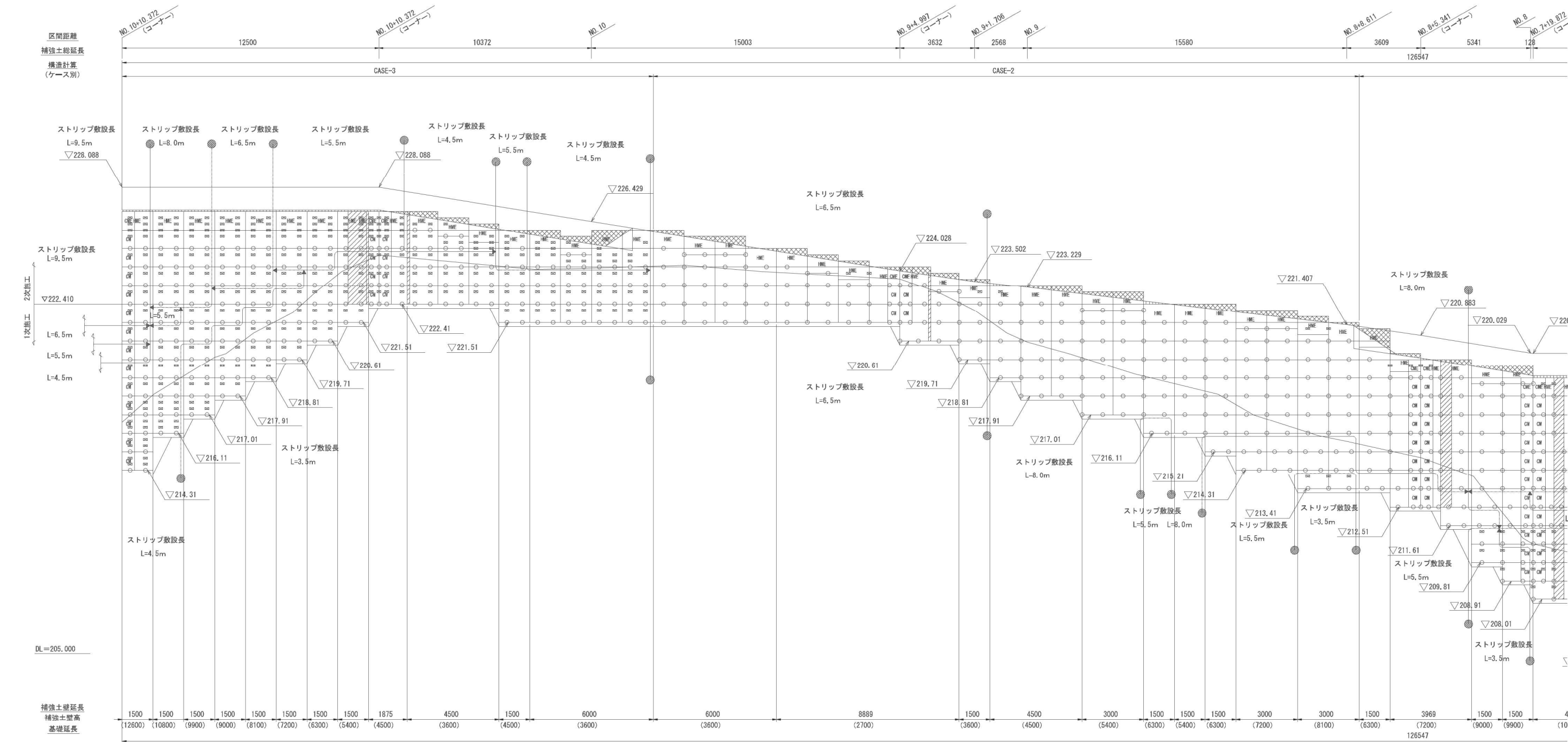
- 注)1. 無記名のメッシュパネルは、“FM”を示す。
注)2. は、メッシュパネルラップ部分を示す。
注)3. は、メッシュパネルカット部分を示す。
注)4. は、メッシュパネルの破材を利用する部分を示す。
注)5. は、アッパーフック・ローワーフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)6. は、ミドルフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)7. 上段付近ストリップはコンクリート舗装に影響が無いようミドルフックを斜め下方向に取り付けストリップを敷設すること。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	補強土壁展開図（3）		
縮 尺	1:100	図面番号	98 の 27
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁展開図（４）

S=1:100



- 特 記
- 盛土材料は、次に示す〔A1〕もしくは〔A2〕材料を用いることを原則とする。
〔A1〕細粒分（土粒子の粒径が75μm以下のもの）の含有量が25%以下の土質材料。
〔A2〕岩石材料の寸法が250mmを超える大きい寸法のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小の寸法のものが適度に混合して締固めのしやすいもの。
 - 実施前において、必ず壁位置における原地盤線及び、基礎地盤の確認を要する。
（基礎地盤定数確認後、円弧すべり検討を行うこと。）
 - 地山部及び掘削面に異常な湧水（設計図に示されていない排水対策外）が見られる場合は、別途対策、検討する必要がある。

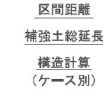
- 注)1. 無記名のメッシュパネルは、“HM”を示す。
注)2. は、メッシュパネルラップ部分を示す。
注)3. は、メッシュパネルカット部分を示す。
注)4. は、メッシュパネルの破材を再利用する部分を示す。
注)5. ○ は、アッパーフック・ローワーフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)6. は、ミドルフック・ヘアピンを組合わせて、ストリップを取り付ける。
注)7. 上段付近ストリップはコンクリート舗装に影響が無いようミドルフックを斜め下方向に取り付けストリップを敷設すること。

設 計 条 件		
補強土壁の高さ	Hmax =14.400 m	
盛土材の性質	$\phi = 30^\circ$, $\gamma = 19\text{kN/m}^3$ (1.9tf/m ³)	
盛土材とストリップの間の摩擦係数	$f' = 1.5 \sim 0.726$	
設 計 水 平 震 度	kh = 0.12 (I種地盤)	
安 全 率	常 時	地 震 時
	ストリップの引き抜きに対して	2.00 1.20
	盛土のすべり破壊に対して	1.20 1.00
	ストリップの引張許容応力度	$\sigma_{ta} = 185\text{N/mm}$ (1900kgf/cm ²)
	ボルトのせん断許容応力度	$\tau_a = 200\text{N/mm}$ (2000kgf/cm ²)

【不動沢川工事用道路】

工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	補強土壁展開図（４）		
縮 尺	1:100	図面番号	98 の 28
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

S=1:100



【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	補強土壁展開図（5）		
縮 尺	1:100	図面番号	98 の 29
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

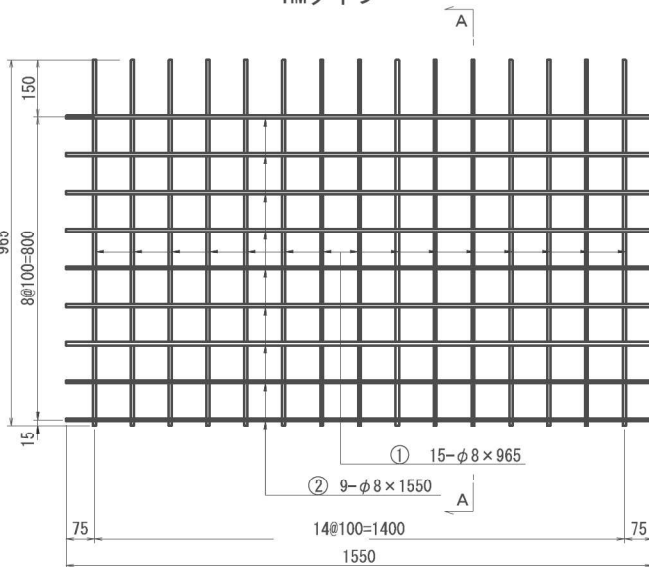
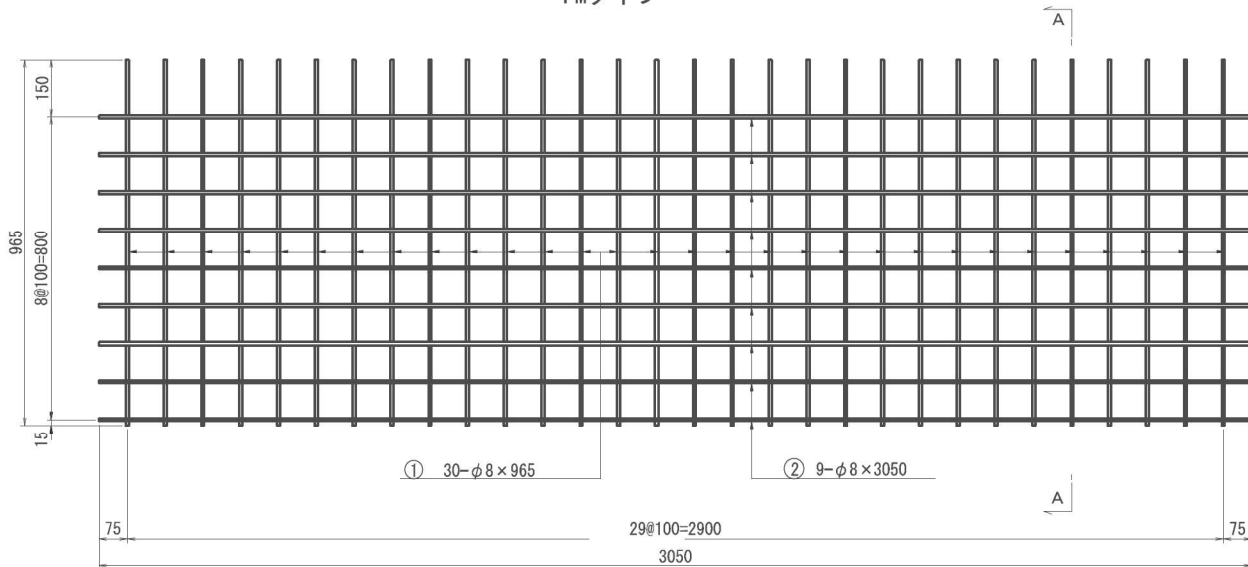
補強土壁詳細図

メッシュパネル詳細図

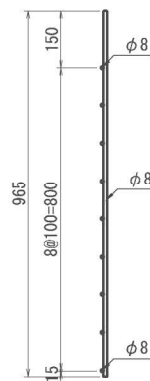
S=1:10

FMタイプ

HMタイプ

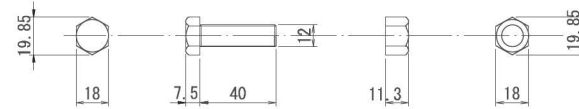


A-A断面



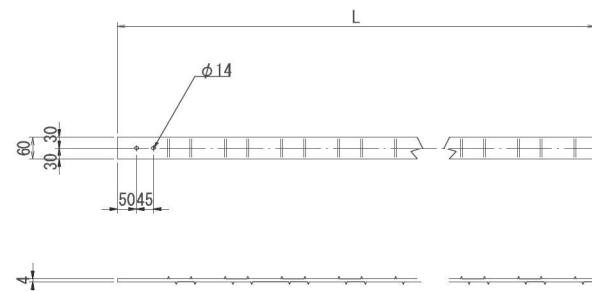
ボルト・ナット (M12×40)

S=1:2



リブ付ストリップ詳細図

S=1:10



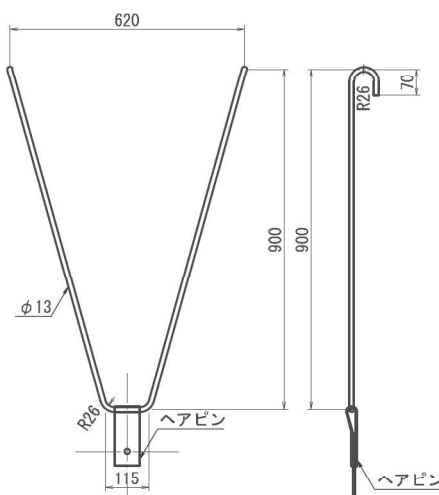
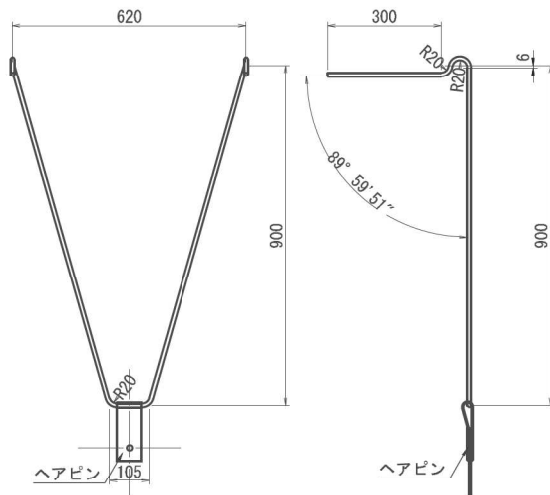
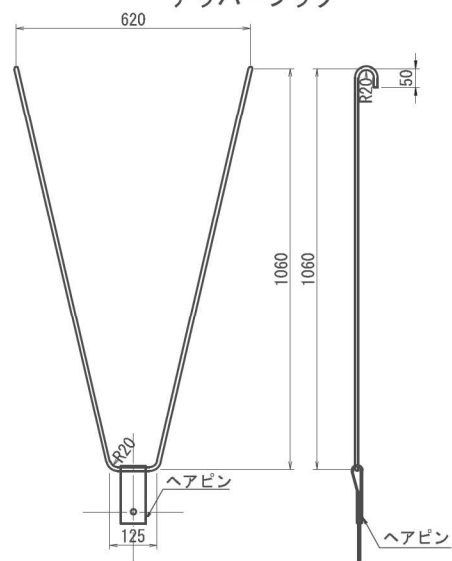
フック詳細図

S=1:10

アッパーフック

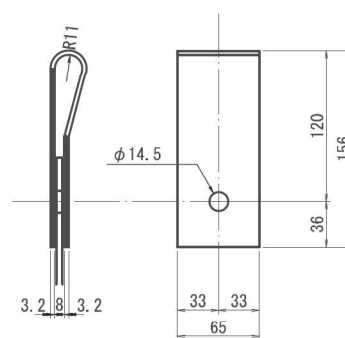
ロワーフック

ミドルフック



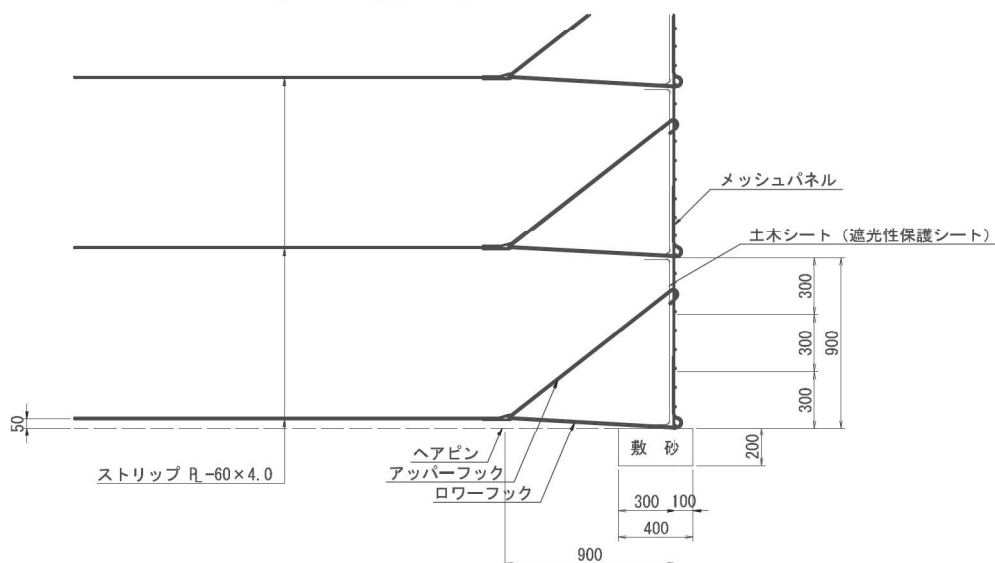
ヘアピン詳細図

S=1:3



メッシュ組立図

S=1:20

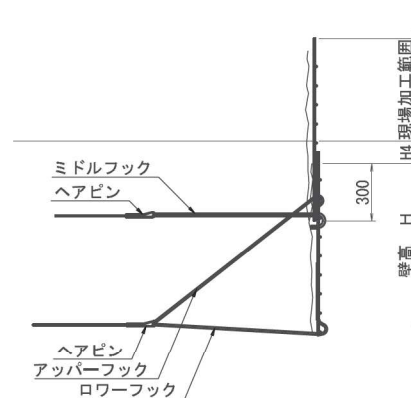
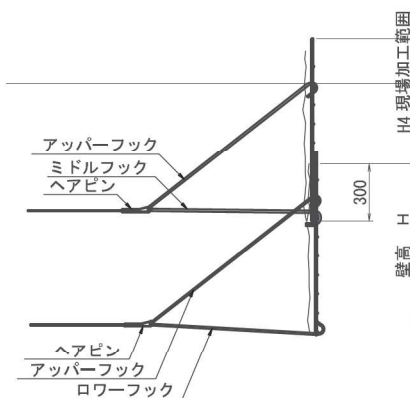


天端部詳細図

S=1:20

(天端調整高 H4 が300以上600未満の場合)

(天端調整高 H4 が300未満の場合)



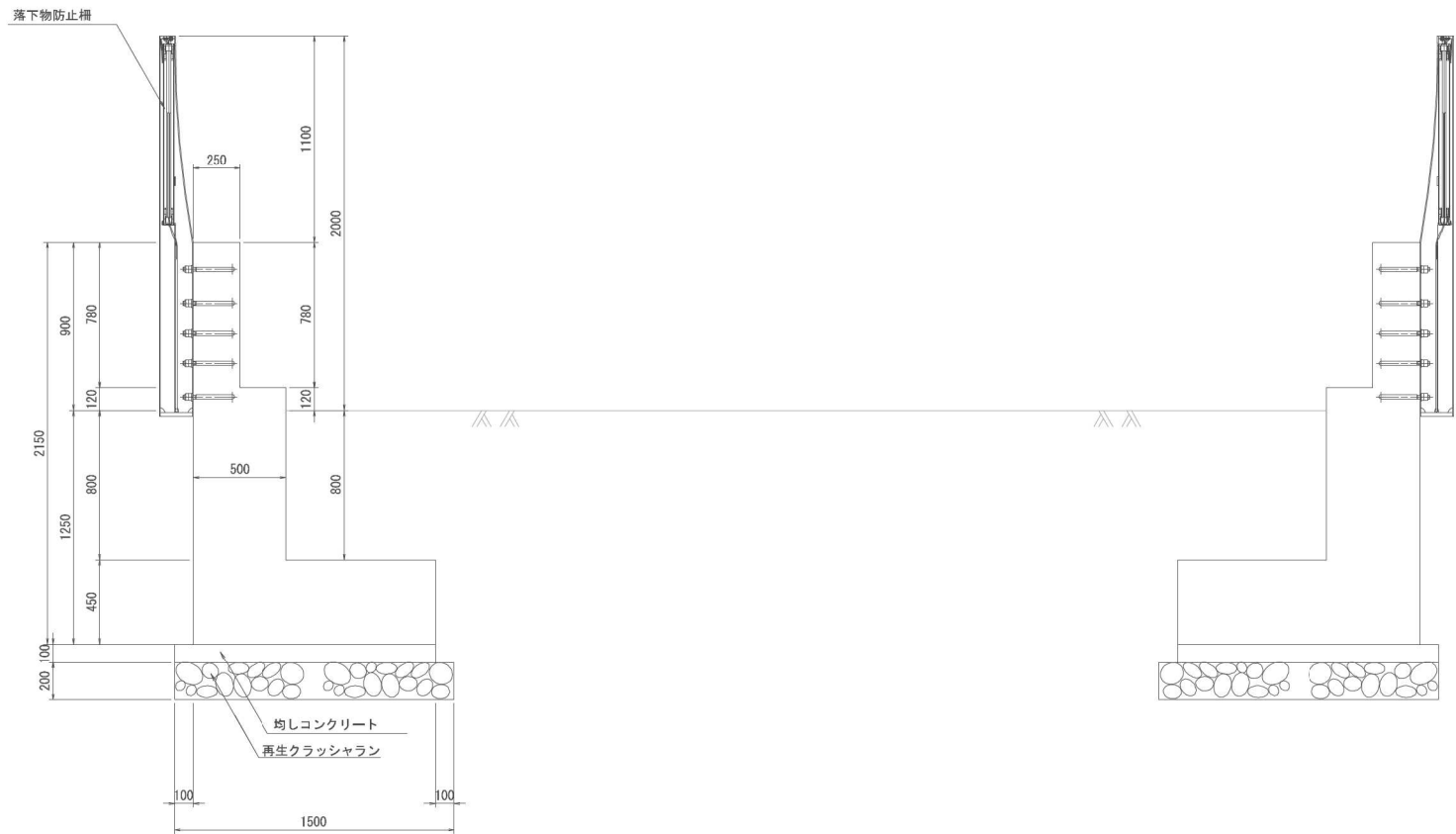
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動産川工事用道路】

工事名	R7中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図面名	補強土壁詳細図		
縮尺	図示	図面番号	98の30
年月日	令和8年1月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

コンクリート構造物取壊し詳細図

剛性防護柵基礎（補強土壁部）断面図 S=1：20



剛性防護柵基礎取壊し 数量表

一式当り

名 称	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
剛性防護柵基礎(起点側)	躯体コンクリート	鉄筋構造物	m3	21.8	L=17.6m
剛性防護柵基礎(終点側)	躯体コンクリート	鉄筋構造物	m3	36.7	L=24.8m
合 計			m3	58.5	
剛性防護柵基礎(起点側)	均しコンクリート	無筋構造物	m3	2.6	L=17.6m
剛性防護柵基礎(終点側)	均しコンクリート	無筋構造物	m3	5.5	L=24.8m
合 計			m3	8.1	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	コンクリート構造物取壊し詳細図		
縮 尺	1:20	図面番号	98 の 31
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋（P G橋・従来工法）一般図

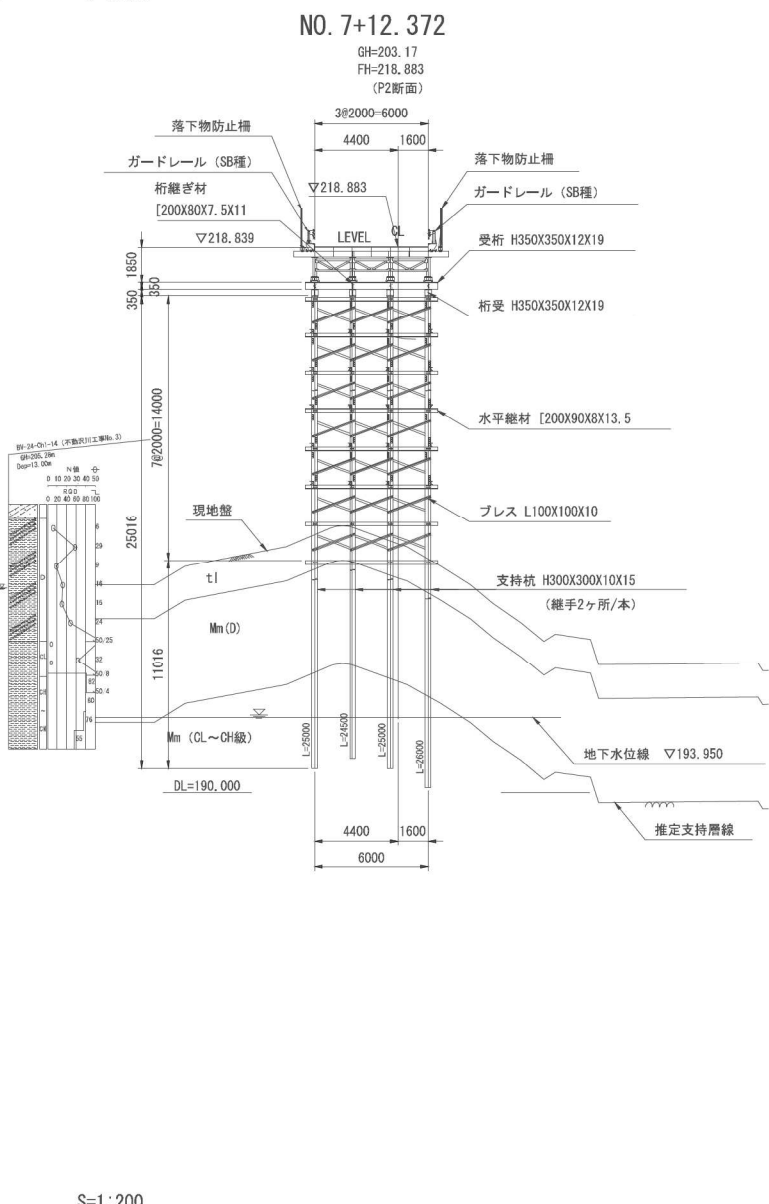
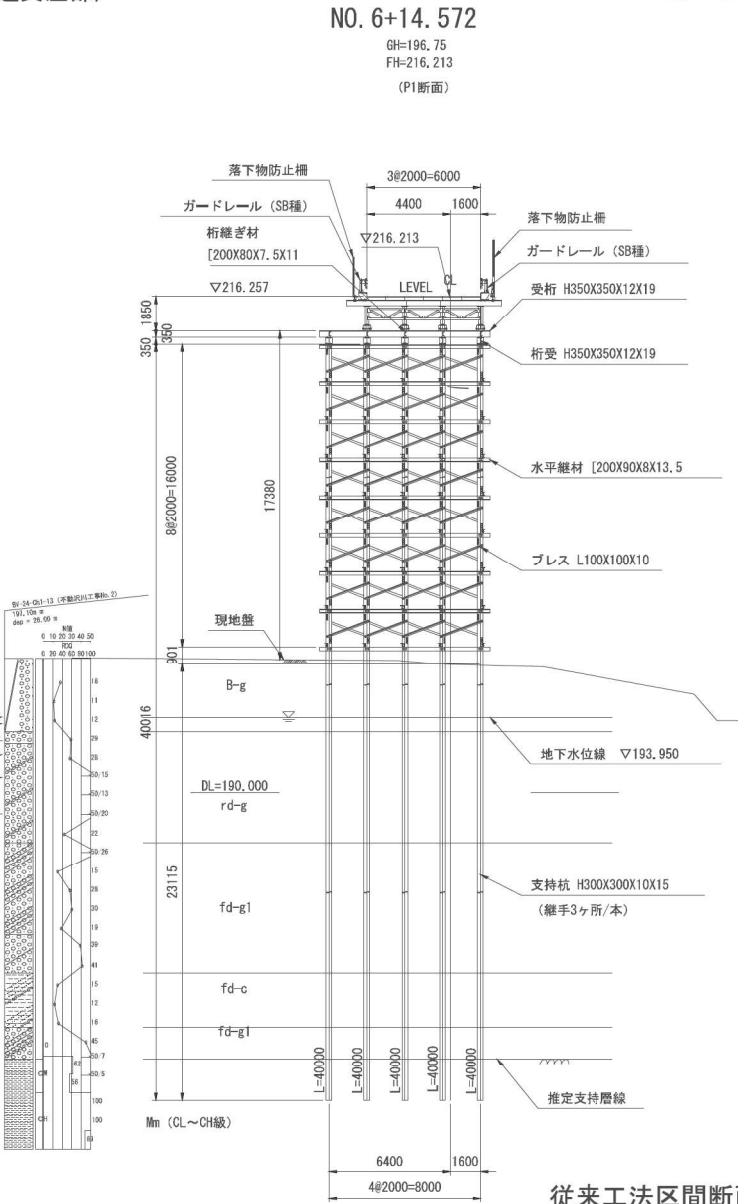
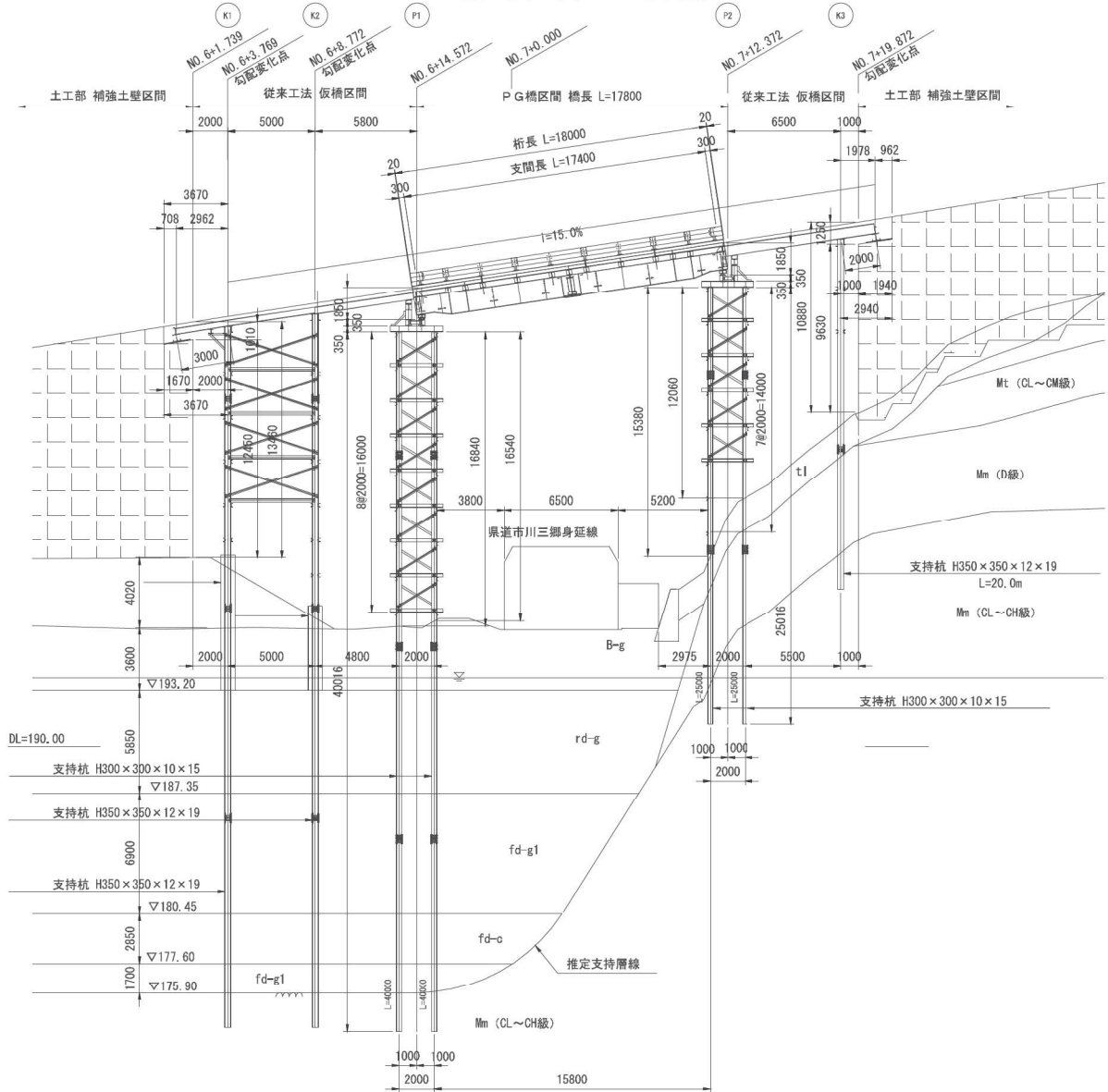
側面図

S=1:200

(県道交差部)

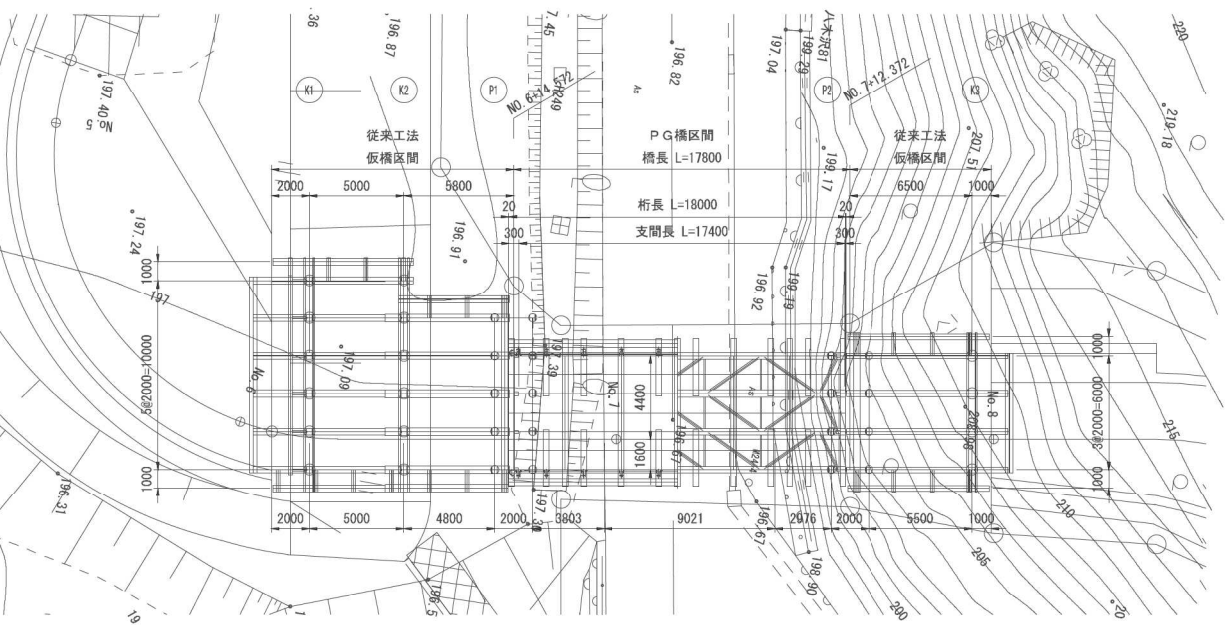
断面図

S=1:200



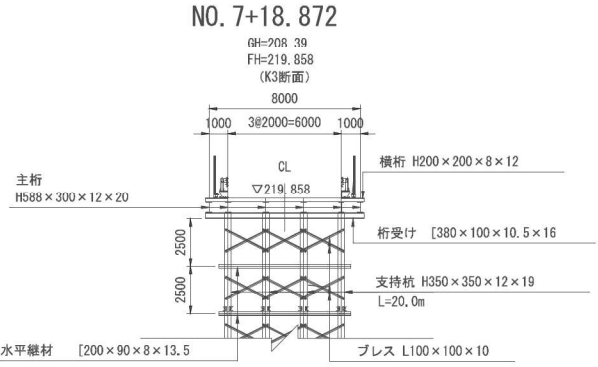
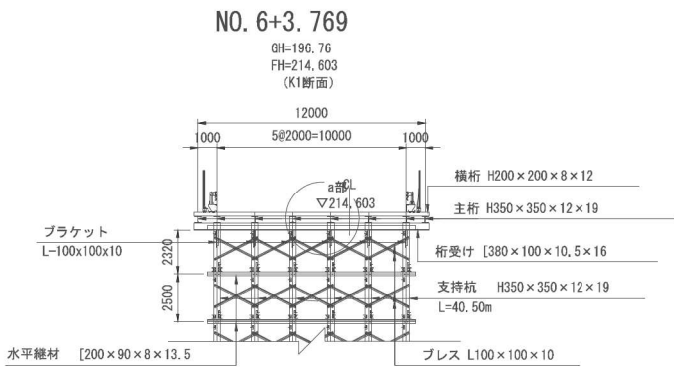
平面図

S=1:200



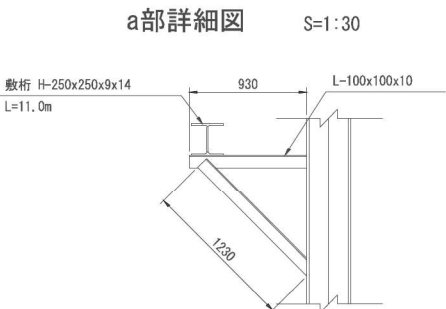
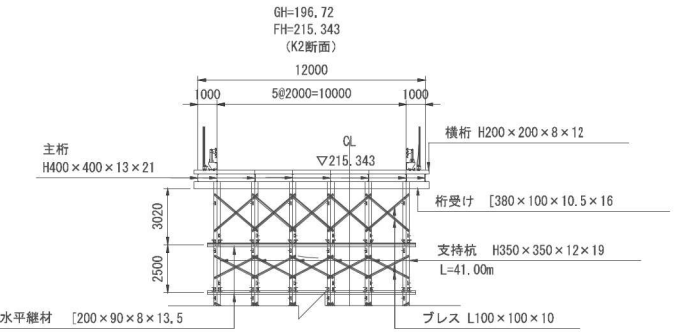
従来工法区間断面図

S=1:200



a部詳細図

S=1:30



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

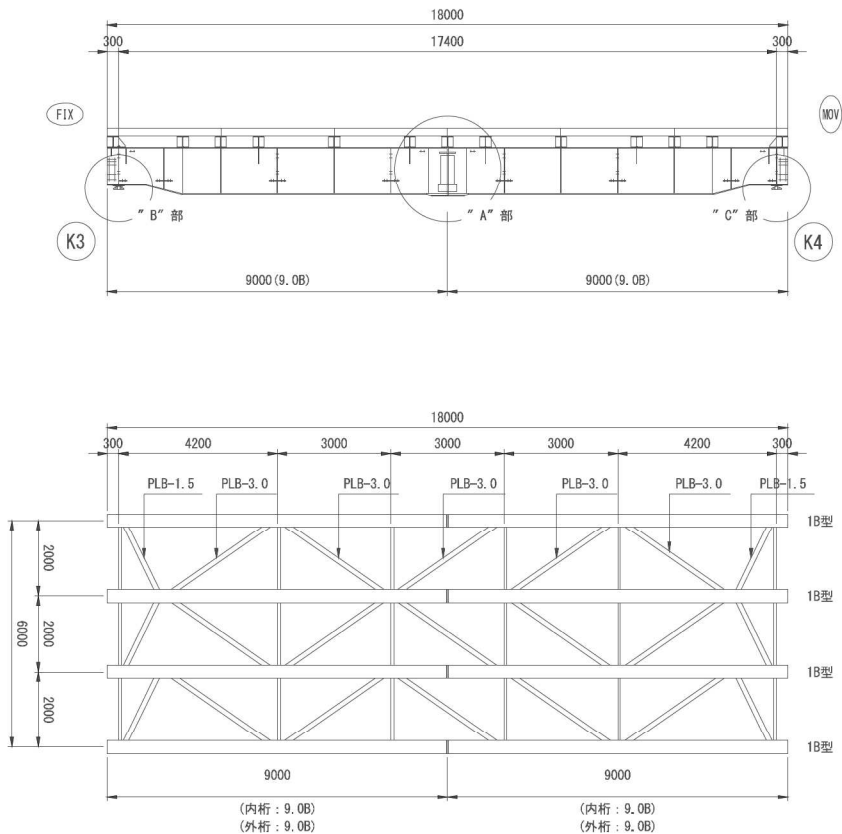
【不動沢川工用道路】	
工事名	R 7 中部横断工事用道路撤去その2工事
図面名	仮橋（P G橋・従来工法）一般図 （県道交差部）
縮尺	図示
図番	98 の 32
年月日	令和 8 年 1 月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

仮橋（P G橋）上部工詳細図（１）

（県道交差部）

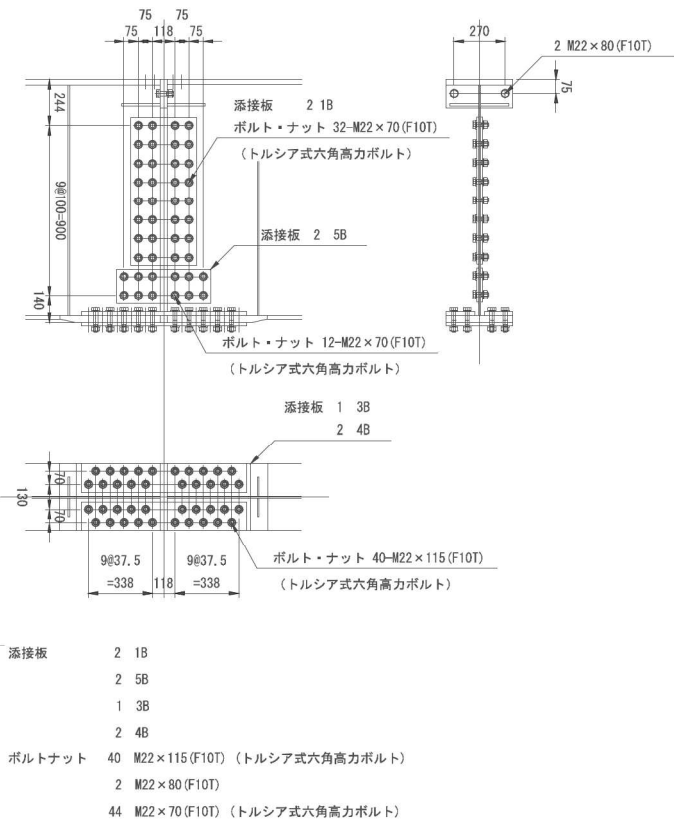
主桁・対傾構・横構 配置図

S=1:100



主桁の添接（" A " 部）

S=1:20



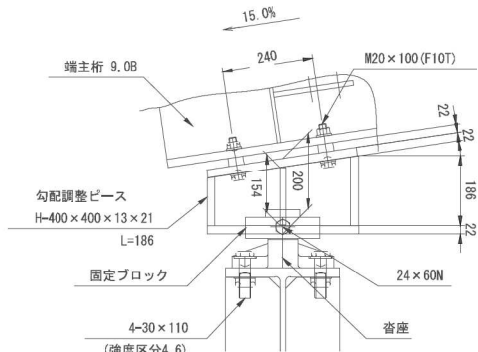
注 記

- ウェブ及び下フランジの添接には トルシア式六角高力ボルトを使用し
他は六角高力ボルトを使用する。
- 下フランジでは ボルトをすべて外向きに挿入する。
- ドリフトピンを 下フランジボルト穴に打ち込み 位置決めを行う。
- 上フランジのエンドプレートを密着させるため ボルト締めは上フランジから行う。
- 沓座の高さ調整は鋼板ライナープレートで行う。

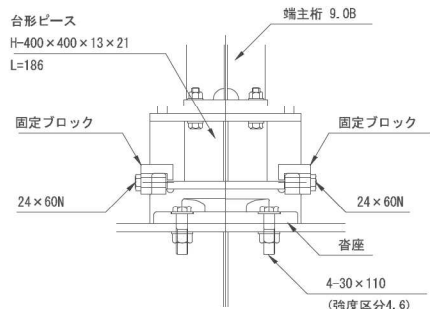
支 承

S=1:10

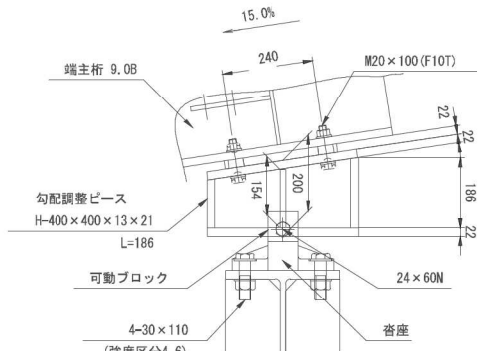
ＦＩＸ．（" B " 部）



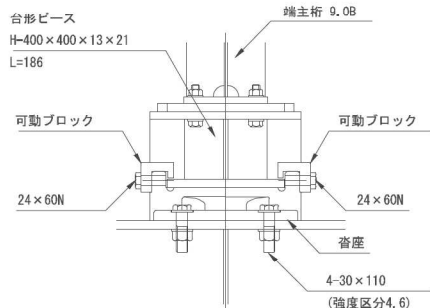
沓 座	1
固定ブロック	2
取付ボルト	2 24×60N
取付ボルト	4 M20×100 (F10T)
取付ボルト	4 M30×110 (強度区分4.6)
勾配調整ピース	1 H-400×400×13×21 L=186
エンドプレート	2 PL-400×22×400
リブプレート	2 PL-103×16×154



MOV．（" C " 部）

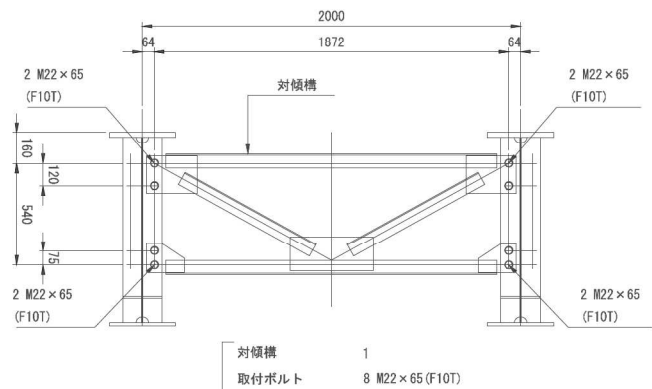


沓 座	1
可動ブロック	2
取付ボルト	2 24×60N
取付ボルト	4 M20×100 (F10T)
取付ボルト	4 M30×110 (強度区分4.6)
勾配調整ピース	1 H-400×400×13×21 L=186
エンドプレート	2 PL-400×22×400
リブプレート	2 PL-103×16×154



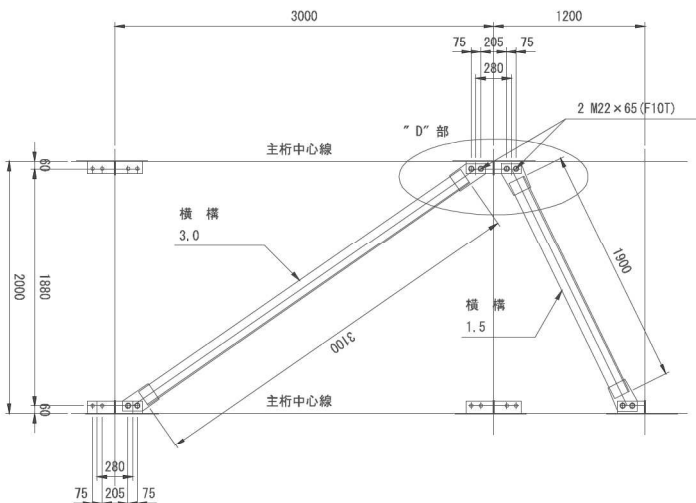
対傾構

S=1:20



横 構

S=1:30

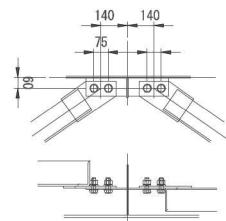


横 構	1 ~3.0
取付ボルト	4 M22×65 (F10T)

横 構	1 ~1.5
取付ボルト	4 M22×65 (F10T)

" D " 部 拡大図

S=1:20



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

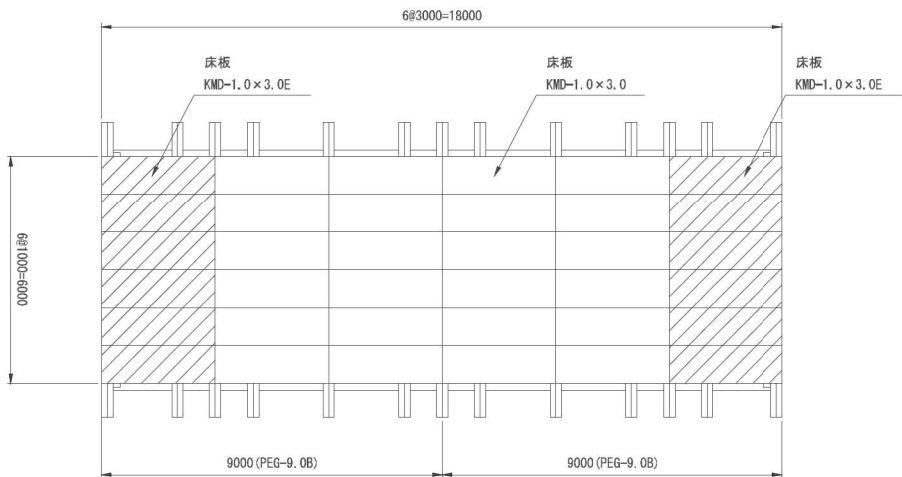
【不動沢川工事用道路】

工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その 2 工事
図 面 名	仮橋（P G 橋）上部工詳細図（１） （県道交差部）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	98 の 33
年 月 日	令和 8 年 1 月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

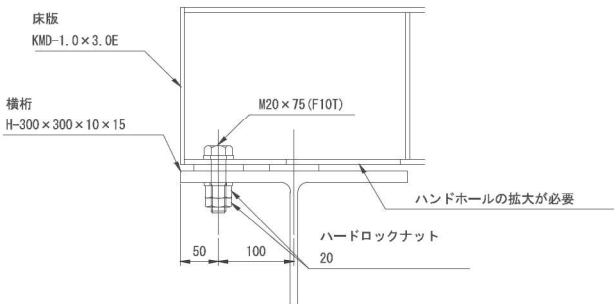
仮橋（P G橋）上部工詳細図（2）

（県道交差部）

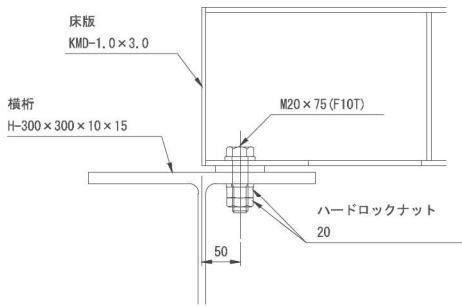
床板 割付図 S=1:100



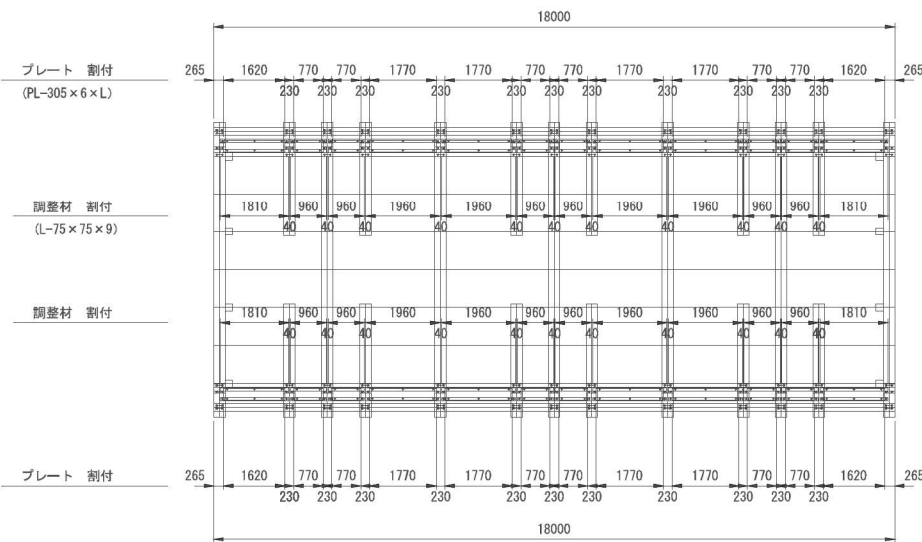
端部 床版取付詳細図 S=1:5



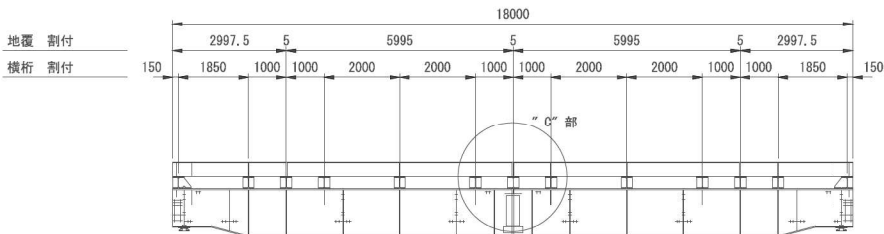
中間部 床版取付詳細図 S=1:5



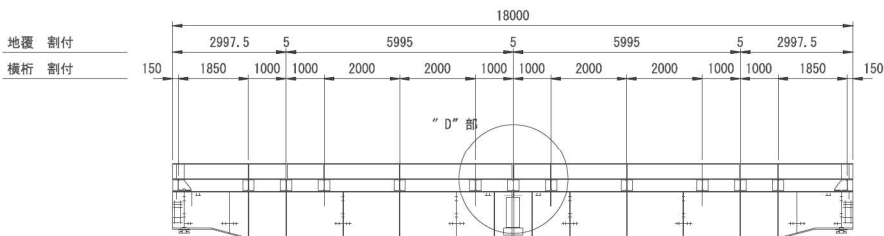
調整材・プレート 割付図 S=1:100



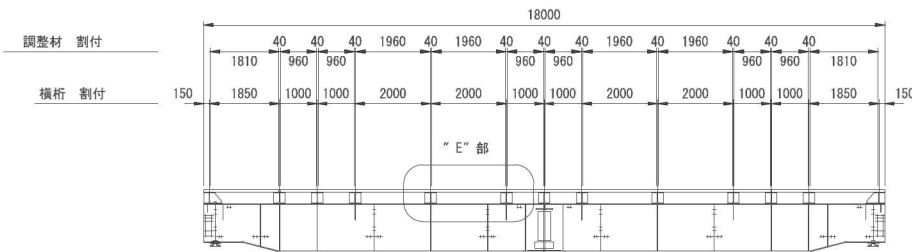
横桁・地覆・調整材 割付図 S=1:100
＜地覆 [-380×100×10.5×16]：ガードレール部



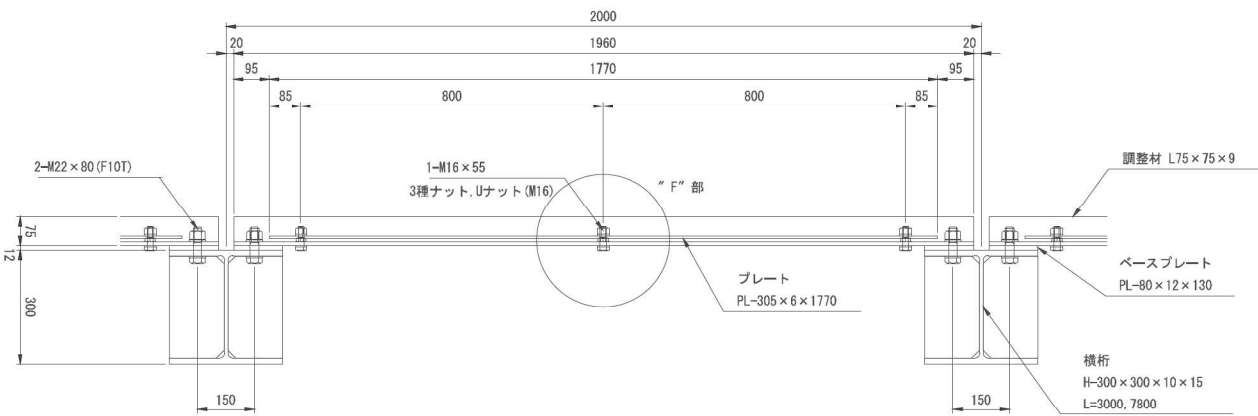
＜地覆 H-200×200×8×12＞：落下物防止柵部



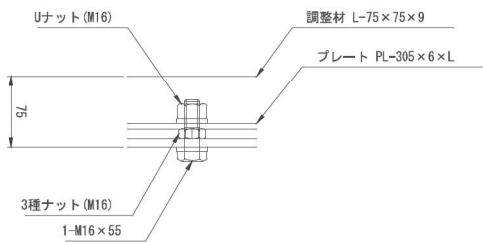
＜調整材 L-75×75×9＞



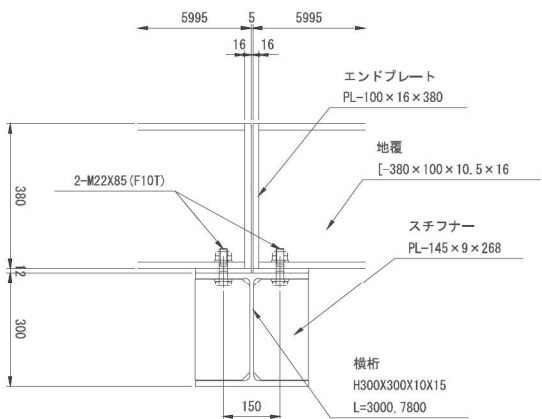
“E”部 拡大図 S=1:10



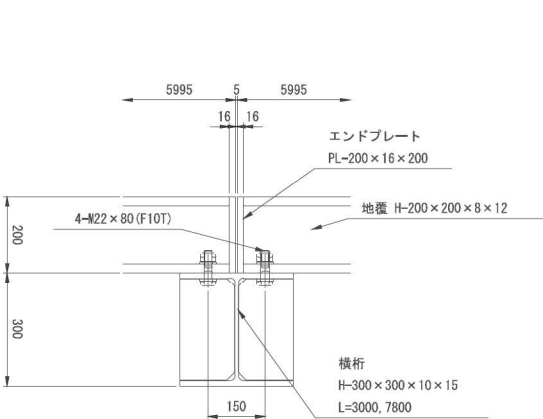
“F”部 拡大図 S=1:4



“C”部 拡大図 S=1:10



“D”部 拡大図 S=1:10



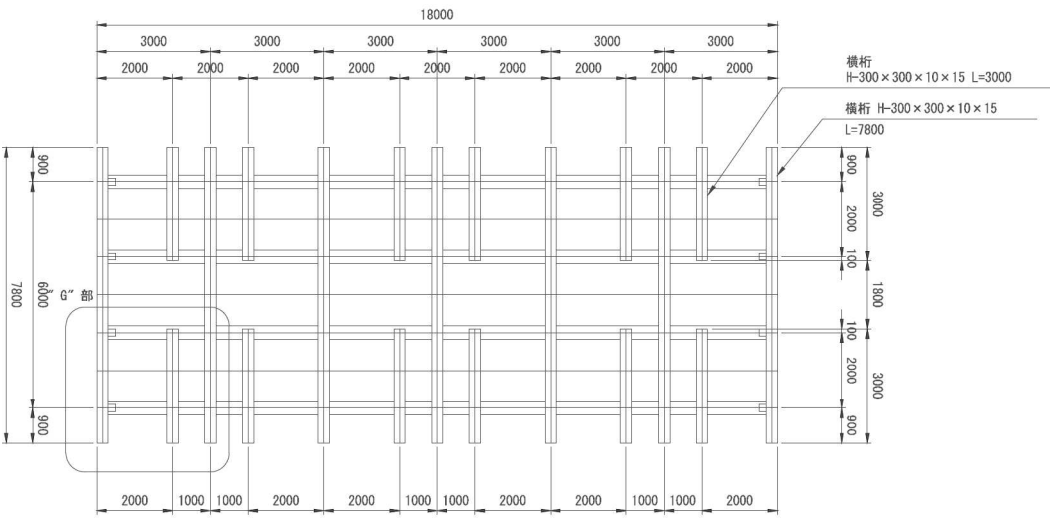
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工用道路】	
工事名	R7中部横断道工用道路撤去その2工事
図面名	仮橋（P G橋）上部工詳細図（2） （県道交差部）
縮尺	図示 図面番号 98 の 34
年月日	令和 8 年 1 月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

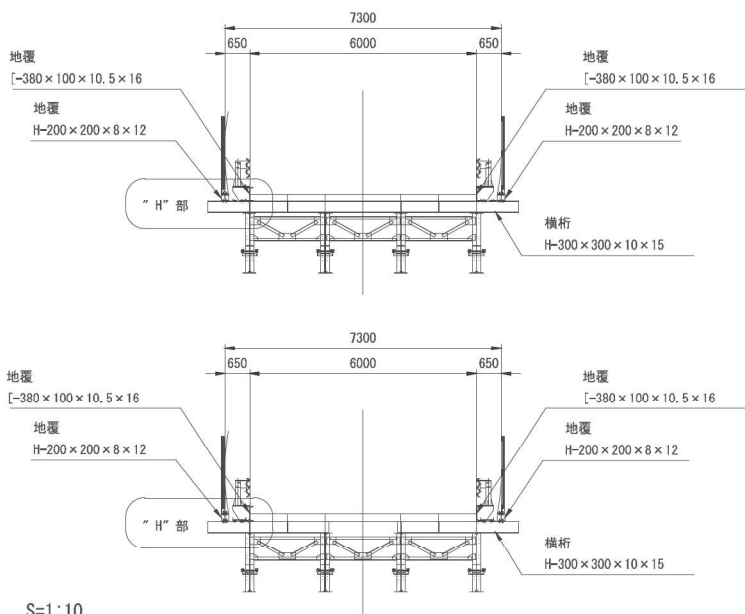
仮橋（P G橋）上部工詳細図（3）

（県道交差部）

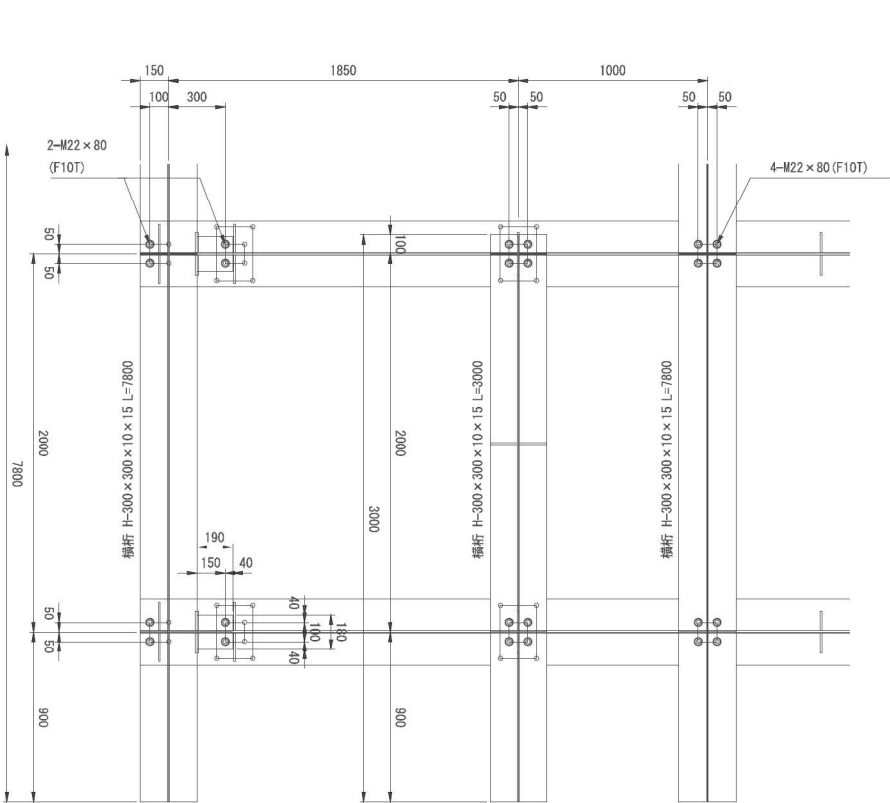
横桁 割付図 S=1:100



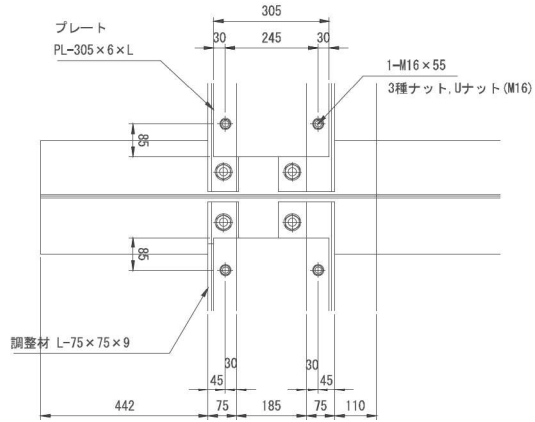
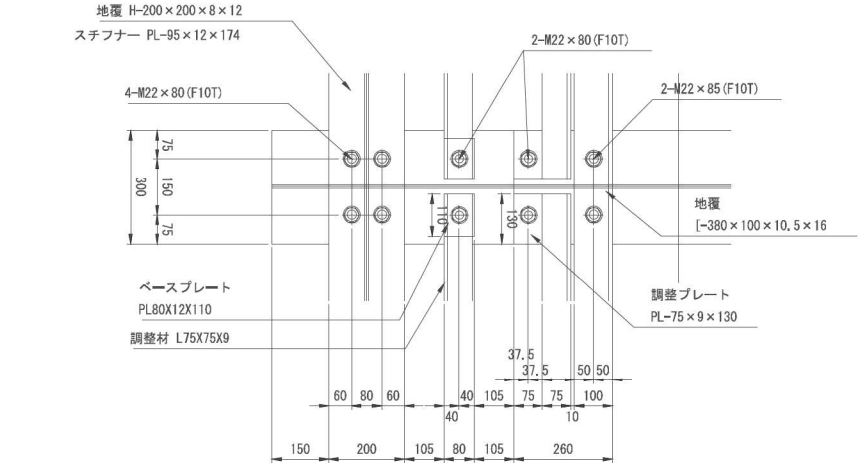
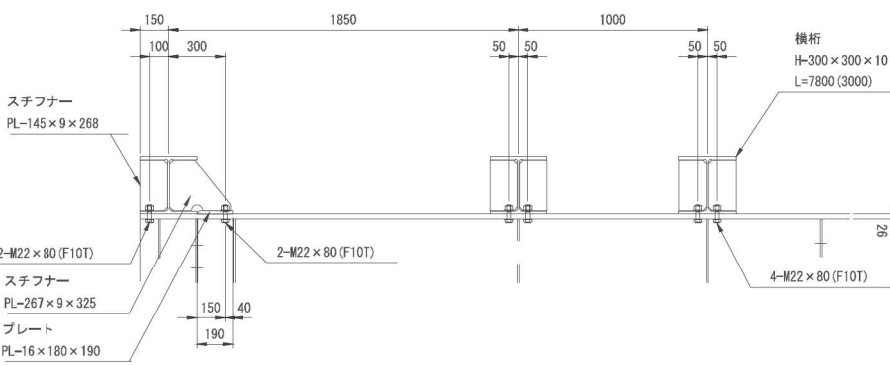
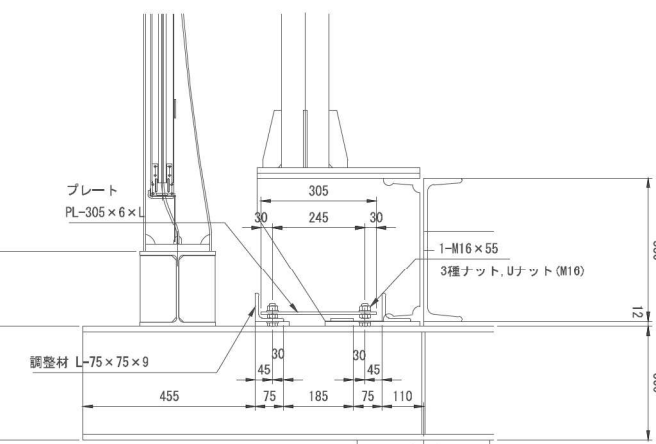
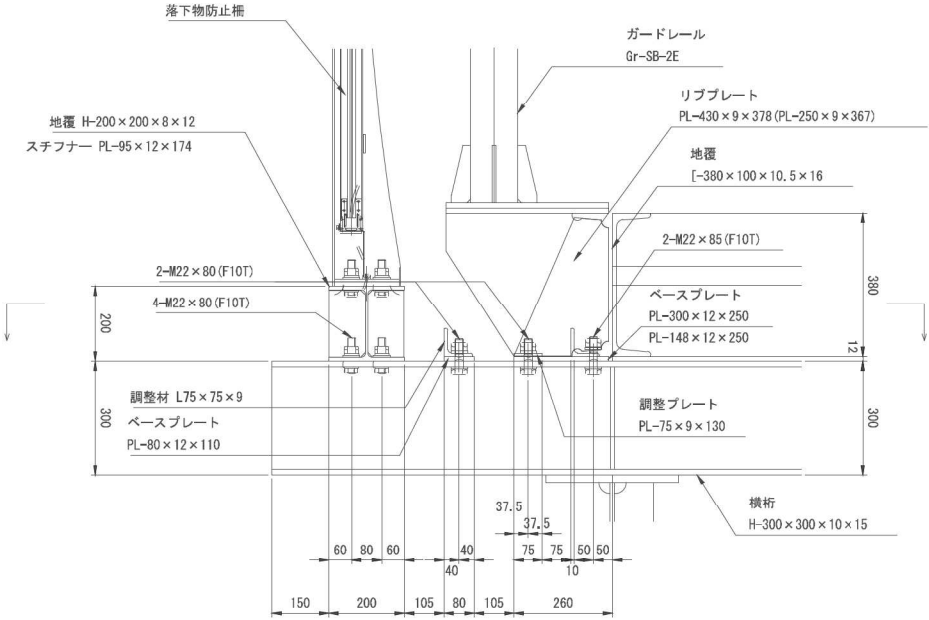
断面図 S=1:100



横桁取付詳細図（"G"部） S=1:20



地覆取付詳細図（"H"部） S=1:10



- 横桁一本につき
- 取付ボルト 2 M22x85 (F10T)
 - 取付ボルト 8 M22x80 (F10T) [端部は7本]
 - 調整プレート 2 PL-75x9x130
 - ベースプレート 2 PL-80x12x110 [端部は1枚]

- プレート枚につき (横桁#2.0m部)
- 取付ボルト 6 M16x55
 - 3種ナット, Uナット (M16)

- プレート枚につき (横桁#1.0m部)
- 取付ボルト 4 M16x55
 - 3種ナット, Uナット (M16)

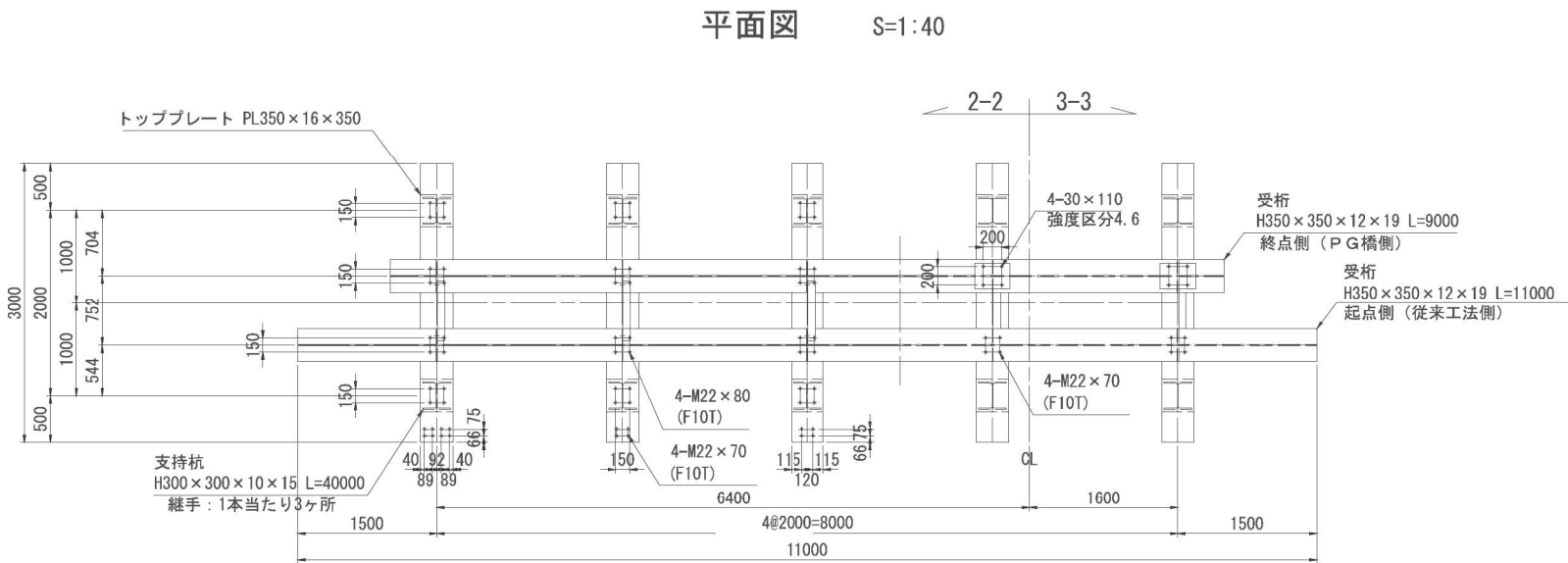
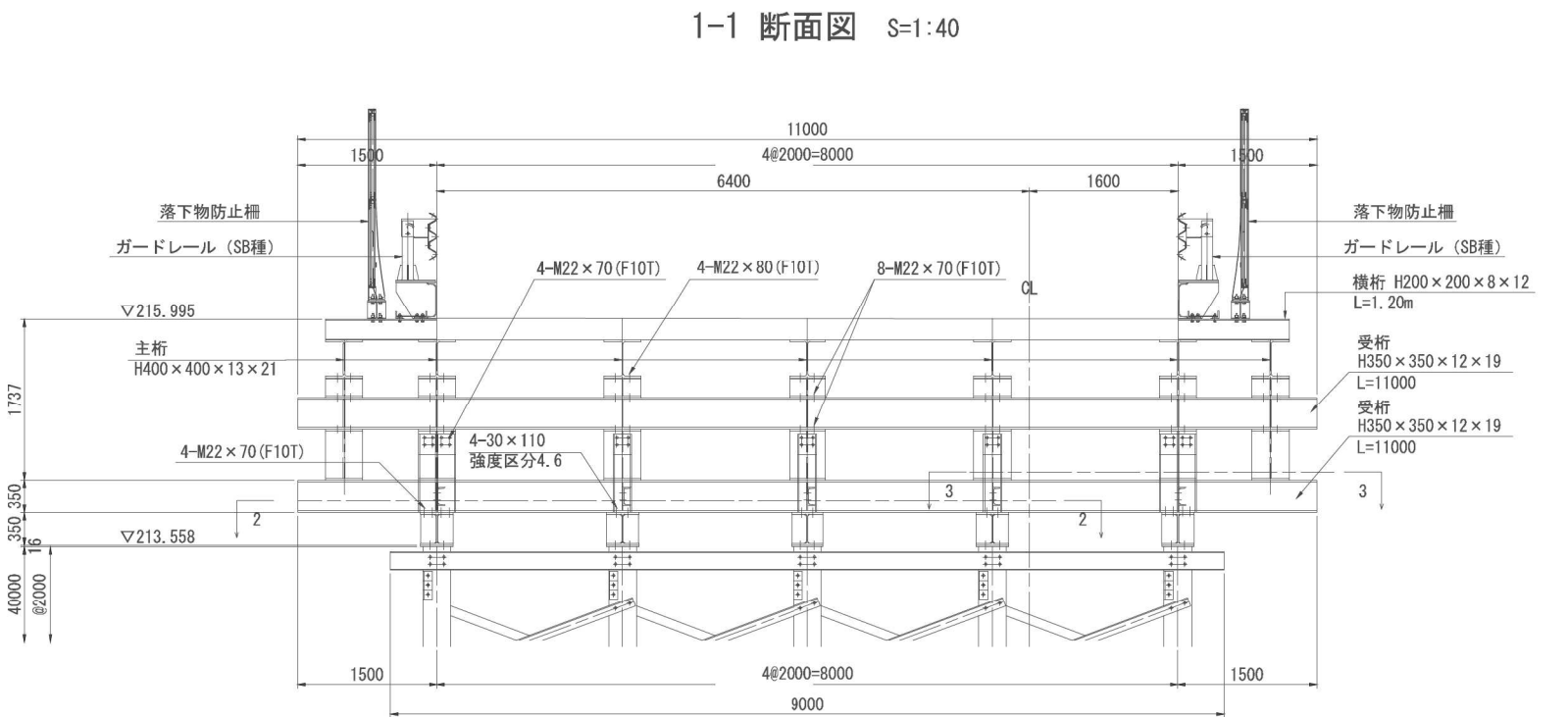
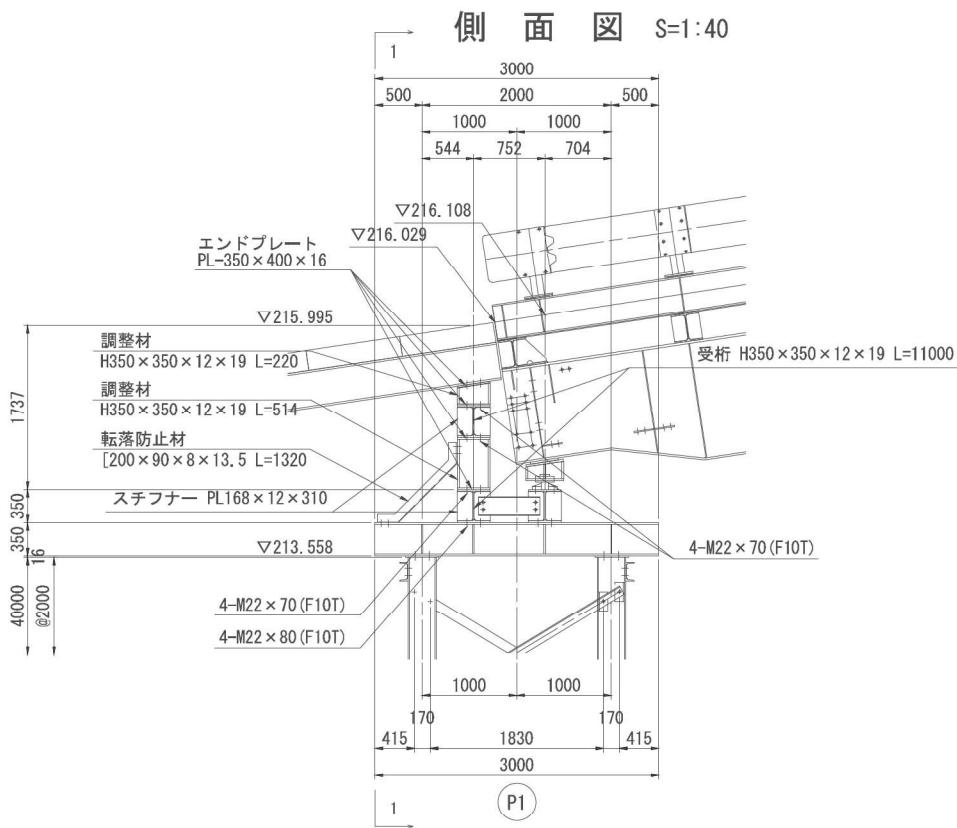
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

【不動沢川工事用道路】	
工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事
図 面 名	仮橋（P G橋）上部工詳細図（3） （県道交差部）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	98 の 35
年 月 日	令 和 8 年 1 月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

仮橋（P G橋）上部工詳細図（４）

（県道交差部）

P G桁高さ調整



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

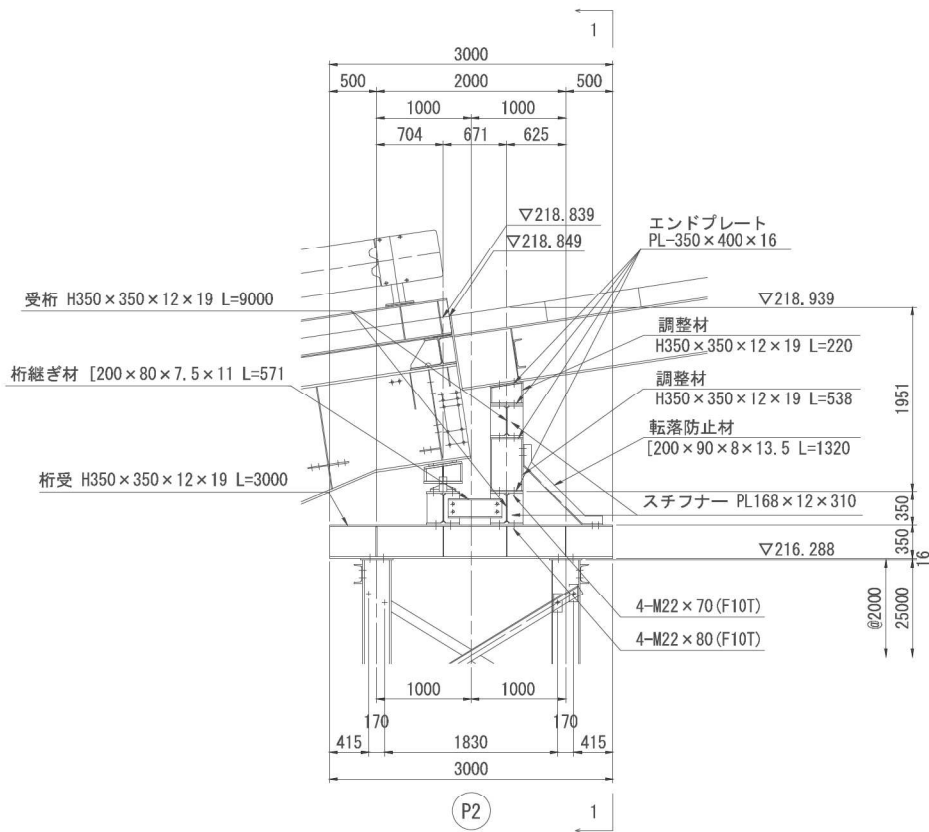
【不動沢川工事用道路】	
工事名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事
図面名	仮橋（P G橋）上部工詳細図（４） （県道交差部）
縮尺	1:40 図面番号 98 の 36
年月日	令和 8 年 1 月
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

仮橋（P G橋）上部工詳細図（5）

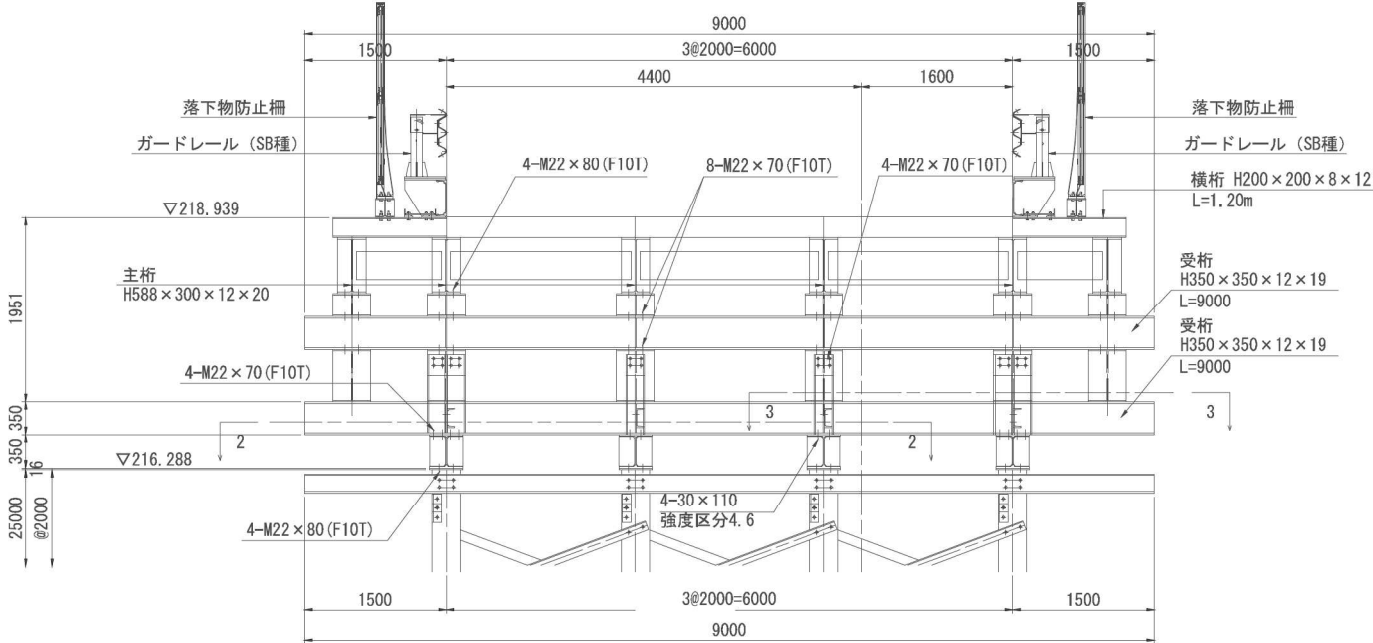
（県道交差部）

P G桁高さ調整

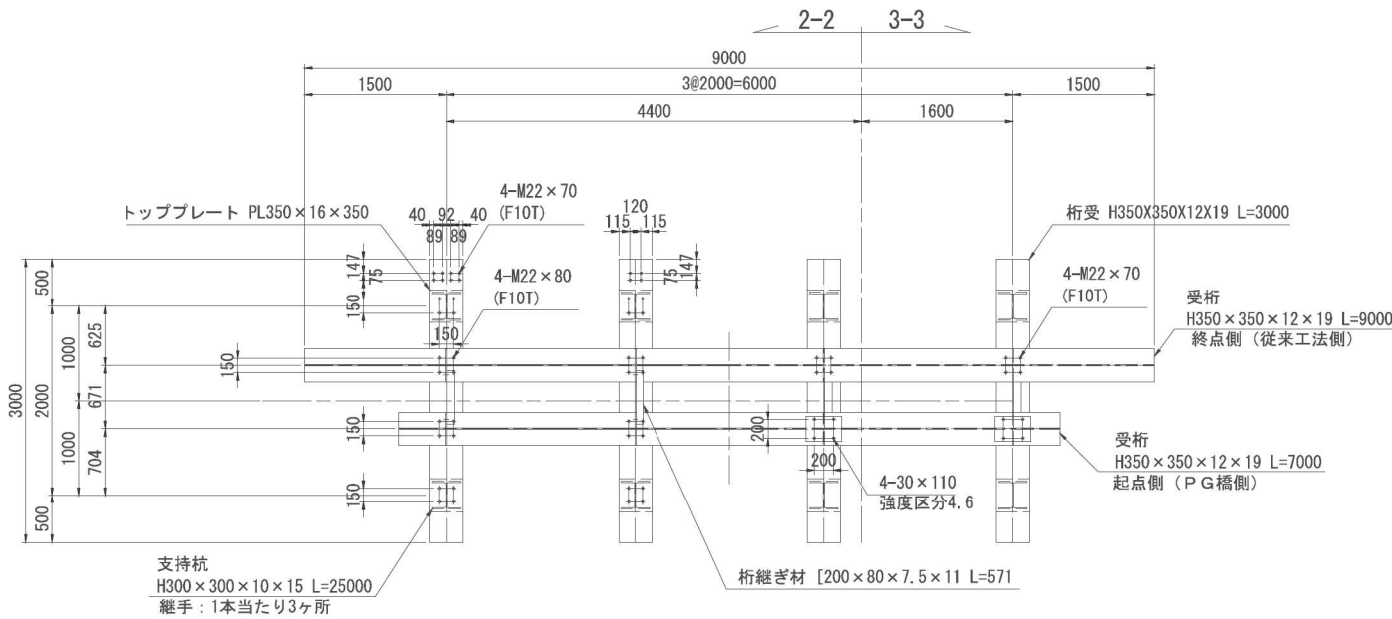
側面図 S=1:40



1-1 断面図 S=1:40



平面図 S=1:40

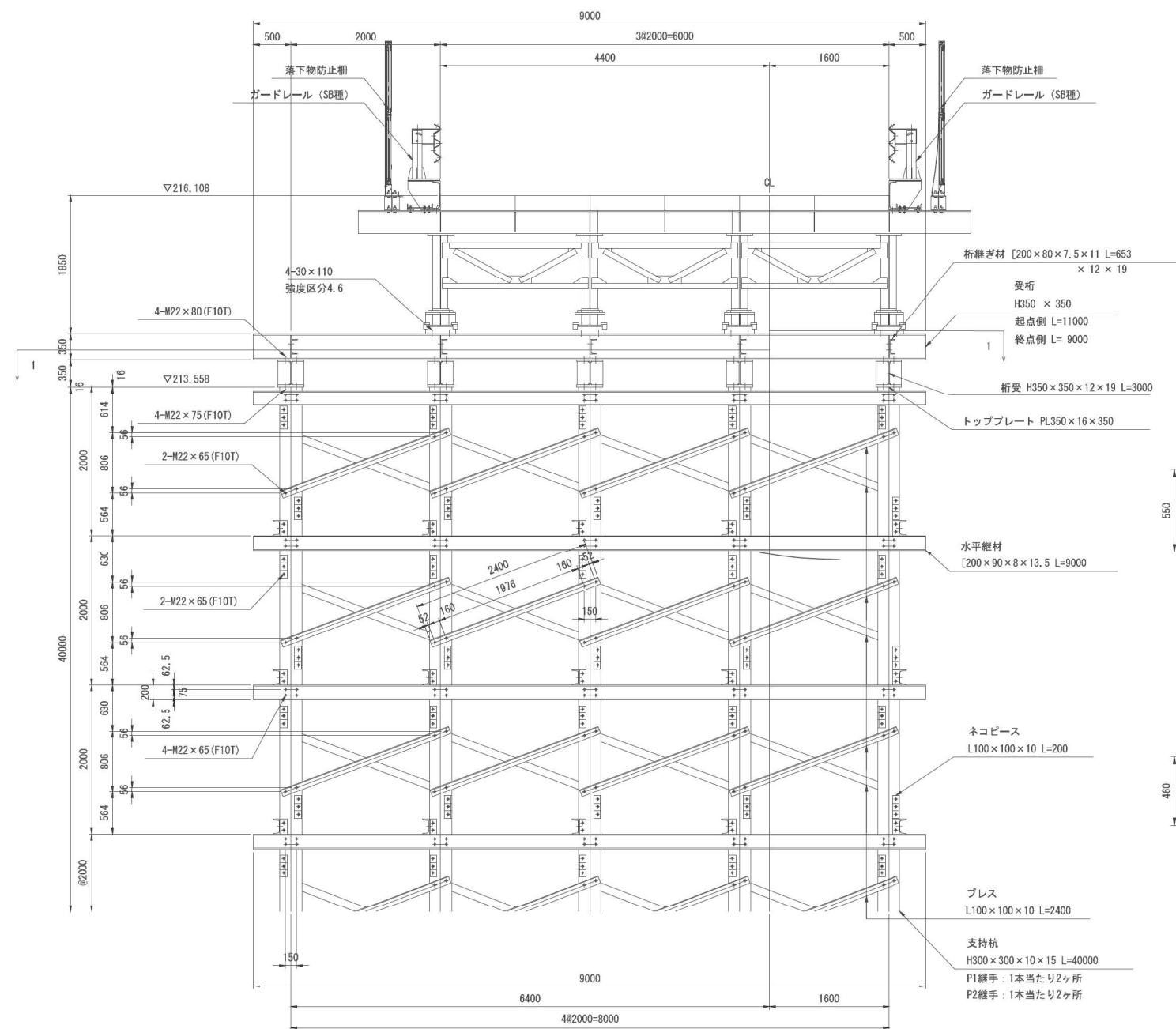


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

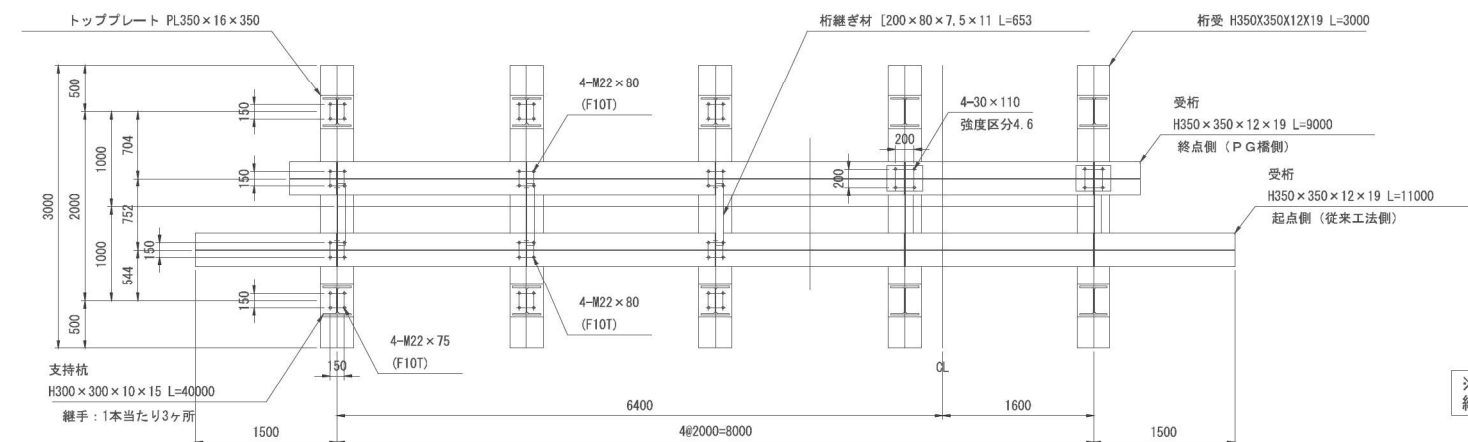
【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	仮橋（P G橋）上部工詳細図（5） （県道交差部）		
縮 尺	1:40	図面番号	98 の 37
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

(県道交差部)

1-1 断面图 S=1:40



支持杭接合部詳細図 S=1:20



【不動沢川工事用道路】			
工 事 名	R7中部横断工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	仮橋（PG橋）下部工詳細図 （県道交差部）		
縮 尺	図 示	図面番号	98 の 38
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋（P G橋）鋼材集計表（１）

（県道交差部）

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
上部工	端 主 桁	PEG-9.0 B	本	8.0	2,112.00	16,896	SM490Y
	対 傾 構	PSB	本	18.0	52.00	936	SS400
	横 構	PLB-3.0	本	15.0	61.00	915	SS400
	横 構	PLB-1.5	本	6.0	39.00	234	SS400
	添 接 板	PSP-I	枚	8.0	17.00	136	SM490Y
	添 接 板	PSP-3 B	枚	4.0	43.00	172	SM490Y
	添 接 板	PSP-4 B	枚	8.0	22.00	176	SM490Y
	添 接 板	PSP-5 B	枚	8.0	6.00	48	SM490Y
	固定ブロック	PFB	個	8.0	6.00	48	FCD450
	可動ブロック	PMB	個	8.0	3.00	24	FCD450
	沓 座	KSB	個	8.0	43.70	350	SCW480
	台形ピース	H-400×400×13×21	本	8.0	31.99	256	SS400 L=0.186m
	エンドプレート	PL-400×22×400	枚	16.0	27.63	442	SS400
	リブプレート	PL-154×16×103	枚	16.0	1.99	32	SS400
	地 覆	H-200×200×8×12	本	4.0	297.55	1,190	SS400 L=5.963m
	地 覆	H-200×200×8×12	本	4.0	148.78	595	SS400 L=2.9815m
	地 覆	[~380×100×10.5×16	本	4.0	324.98	1,300	SS400 L=5.963m
	地 覆	[~380×100×10.5×16	本	4.0	162.49	650	SS400 L=2.9815m
	ブ レ ー ト	PL-305×6×1620	枚	4.0	23.27	93	SS400
	ブ レ ー ト	PL-305×6×770	枚	12.0	11.06	133	SS400
	ブ レ ー ト	PL-305×6×1770	枚	8.0	25.43	203	SS400
	スチフナー	PL-92×9×174	枚	48.0	1.13	54	SS400
	リブプレート	PL-430×9×378	枚	20.0	11.48	230	SS400
	リブプレート	PL-250×9×367	枚	4.0	6.48	26	SS400
	調整プレート	PL-75×9×130	枚	52.0	0.69	36	SS400
	スチフナー	PL-145×9×268	枚	162.0	2.75	446	SS400
	スチフナー	PL-267×9×325	枚	8.0	6.13	49	SS400
	エンドプレート	PL-200×12×200	枚	12.0	3.77	45	SS400
	ベースプレート	PL-300×12×250	枚	20.0	7.07	141	SS400
	ベースプレート	PL-148×12×250	枚	12.0	3.49	42	SS400
	ベースプレート	PL-80×12×130	枚	48.0	0.98	47	SS400
	エンドプレート	PL-100×16×380	枚	12.0	4.77	57	SS400
	ブ レ ー ト	PL-180×16×190	枚	8.0	4.30	34	SS400
	調 整 材	L-75×75×9	本	8.0	18.03	144	SS400 L=1.810m
	調 整 材	L-75×75×9	本	24.0	9.56	229	SS400 L=0.960m
	調 整 材	L-75×75×9	本	16.0	19.52	312	SS400 L=1.960m
	横 桁	H-300×300×10×15	本	7.0	725.40	5,078	SS400 L=7.800m
	横 桁	H-300×300×10×15	本	12.0	279.00	3,348	SS400 L=9.000m
	上部工合計					35,147	購入（現場発生品）

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋面工	覆工板	KMD -1.0×3.0	枚	24.0	590.00	14,160	SS400
	覆工板	KMD -1.0×3.0E	枚	12.0	595.00	7,140	SS400
	橋面工合計		m2	108.0		21,300	購入（現場発生品）
高欄工	ガードレール	S B種	m	36.0		2,135	
	高欄工合計					2,135	購入（現場発生品）

【不動沢川工事用道路】

工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	仮橋（P G橋）鋼材集計表（１） （県道交差部）		
縮 尺	一	図面番号	98 の 39
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋（P G橋）鋼材集計表（2）

（県道交差部）

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
下部工	受 桁	H-350×350×12×19	本	1.0	1,215.00	1,215	L=9,000m
	受 桁	H-350×350×12×19	本	2.0	1,485.00	2,970	L=11,000m 高さ調整用
	桁 受	H-350×350×12×19	本	5.0	405.00	2,025	L=3,000m
	桁 継 材	[-200×80×7.5×11	本	5.0	16.06	80	L=0.653m
	水 平 継 材	[-200×90×8×13.5	本	40.0	90.90	3,636	L=3,000m
	水 平 継 材	[-200×90×8×13.5	本	18.0	272.70	4,909	L=9,000m
	斜 材	L-100×100×10	本	80.0	40.23	3,218	L=2,700m
	斜 材	L-100×100×10	本	128.0	35.76	4,577	L=2,400m
	ネコピース	L-100×100×10	本	160.0	2.98	477	L=0,200m 継ぎ材用
	ネコピース	L-100×100×10	本	320.0	2.98	954	L=0,200m プレス用
	ステフナー	PL-12×168×310(350S)	枚	50.0	4.90	245	
	ステフナー	PL-12×168×310(350S)	枚	28.0	4.90	137	高さ調整用
	トッププレート	PL-16×350×350	枚	10.0	15.39	154	
	エンドプレート	PL-16×350×400	枚	28.0	17.60	493	高さ調整用
	調整材下側	H-350×350×12×19	本	7.0	69.39	486	L=0,514m 高さ調整用
	調整材上側	H-350×350×12×19	本	7.0	29.70	208	L=0,220m 高さ調整用
	転落防止材	[-200×90×8×13.5	本	7.0	40.00	280	L=1,320m 高さ調整用
	P1橋脚 合計					26,064	
	受 桁	H-350×350×12×19	本	1.0	945.00	945	L=7,000m
	受 桁	H-350×350×12×19	本	2.0	1,215.00	2,430	L=9,000m 高さ調整用
	桁 受	H-350×350×12×19	本	4.0	405.00	1,620	L=3,000m
	桁 継 材	[-200×80×7.5×11	本	4.0	14.05	56	L=0,571m
	水 平 継 材	[-200×90×8×13.5	本	20.0	90.90	1,818	L=3,000m
	水 平 継 材	[-200×90×8×13.5	本	13.0	212.10	2,757	L=7,000m
	斜 材	L-100×100×10	本	40.0	40.23	1,609	L=2,700m
	斜 材	L-100×100×10	本	72	35.76	2,575	L=2,400m
	ネコピース	L-100×100×10	本	80.0	2.98	238	L=0,200m 継ぎ材用
	ネコピース	L-100×100×10	本	160.0	2.98	477	L=0,200m プレス用
	ステフナー	PL-12×168×310(350S)	枚	40.0	4.90	196	
	ステフナー	PL-12×168×310(350S)	枚	24.0	4.90	118	高さ調整用
	トッププレート	PL-16×350×350	枚	2.0	15.39	31	
	エンドプレート	PL-16×350×400	枚	24.0	17.60	422	高さ調整用
	調整材下側	H-350×350×12×19	本	6.0	72.63	436	L=0,538m 高さ調整用
	調整材上側	H-350×350×12×19	本	6.0	29.70	178	L=0,220m 高さ調整用
	転落防止材	[-200×90×8×13.5	本	6.0	40.00	240	L=1,320m 高さ調整用
	P2橋脚 合計					16,146	
	下部工合計					42,210	購入（現場発生品）

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋脚工	支 持 杭	H-300×300×10×15	本	10.0	3,720.00	37,200	L=40,000m 3ヶ所ジョイント
	ジョイントプレート	PL-12×300×550	枚	60.0	15.54	932	
	ジョイントプレート	PL-12×120×550	枚	120.0	6.22	746	
	ジョイントプレート	PL-9×180×460	枚	60.0	5.85	351	
	P1橋脚 合計					39,229	
	支 持 杭	H-300×300×10×15	本	2.0	2,278.50	4,557	L=24,500m 2ヶ所ジョイント
	支 持 杭	H-300×300×10×15	本	4.0	2,325.00	9,300	L=25,000m 2ヶ所ジョイント
	支 持 杭	H-300×300×10×15	本	2.0	2,418.00	4,836	L=26,000m 2ヶ所ジョイント
	ジョイントプレート	PL-12×300×550	枚	32.0	15.54	497	
	ジョイントプレート	PL-12×120×550	枚	64.0	6.22	398	
	ジョイントプレート	PL-9×180×460	枚	32.0	5.85	187	
	P2橋脚 合計					19,775	
	橋脚工合計					59,004	購入（現場発生品）

【不動沢川工事用道路】

工 事 名	R 7 中部横断道工工事用道路撤去その2工事		
図 面 名	仮橋（P G橋）鋼材集計表（2） （県道交差部）		
縮 尺	—	図面番号	98 の 40
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		